PlatonicAngels 洗脳プロジェクト―VS 立花ハルカ―

（注意）

この台本はあくまでご視聴の際の参考用です。
この参考台本は作品内で、どのようなセリフだったのかを確認することを目的として同梱しております。 この目的以外の使用、許可のない使用、無断転載や盗作、抜粋して別の作品に引用利用する 等の行為は絶対に行わないでください。
（レビュー投稿や感想を書くまとめサイトに引用利用することは問題ございません。）
また、この台本は参考用ですので実際の音声とは異なる部分が多々ございます。
アドリブも多くありますので、セリフのない部分は全てアドリブになります。
この部分とシリーズ 2 作目以降に聞くバージョンのセリフは記載されておりませんのでご了承下さい。
エンジニアの方、声優への指示等、セリフ以外の指示書きは省いております。
この注意内容をご理解、ご了承の上、参考程度にご覧ください。
何卒宜しくお願い致します。

SweetNightmare MOMOKA。

0－1、（初めての人向け）推しグループマネージャーからの依頼

マ：初めまして。私『EA プロダクション』の妖美ナナオ（えんびななお）と申します。
急にお呼び出しししてしまって申し訳ありません。
本日は弊プロダクション所属『DarksideMoon』単独ライブにお越し下さり
誠にありがとうございました。
彼女達のライブはいかがでしたか？楽しんで頂けました？
…ふふふ。聞くまでもありませんでしたね。貴方は会場の中で誰よりも興奮していて…
熱い声援を彼女らに送って下さっておりましたから。
ファンクラブ会員番号も 1 桁台、毎月一番高いプランで応援して頂き、
熱心にライブにも通って下さっていて…
そんな貴方の応援を私共は、大変嬉しく思っております。
…あら、そんな緊張なさらないで下さい。本日ライブ後に貴方をここにお招きしたのは
別に悪いお話をしようということではないのです。
寧ろ、貴方にとってはとても…嬉しい内容だと思っております。
そう…とても素敵なお話をしようと思いまして僭越ながら貴方をお呼び致しました。
少し、お尋ねしたいことがあるのですが…宜しいでしょうか。
貴方は最近、今までより性欲が強くなったと…
女性を見てムラムラすることが増えたと感じることはありませんか？
…ふふふ、驚きますよね。急にこんなプライベートな質問をすみません。
最近、話題になっているでしょう？性欲が異常に強くなったという人が増えた…と。
また、その影響で所かまわず SEX をする人が増えて、
路上セックスや公の場での SEX が社会現象になっている…と。
それもこの半年程で大分落ち着きましたが…
このような社会の変化の中、『DarksideMoon』の 1 番のファンである貴方は…
そういった性的なことに対する欲求がどのように変化しているのか…気になりまして。

…戸惑っているようですね。ふふ、そうですよね。急にこんな突飛な質問をされたら
そうなりますよね。性欲が増した…と答えてはいけないのではないかと、
そう思ってしまいますよね。ふふ…わかります。

ではこの現象について、私の考えを申し上げましょう。
私はこの現象をとても素晴らしい現象だと考えております。
何故なら、現代社会では少子化が大変大きな問題となっております。
このままいけば、人類は減少の一途をたどり、いずれ滅亡する…
つまり、SEX を行うことは少子化を解決することにつながり、

ひいては人類滅亡の危機を救うことになるのです。
男女がSEXをすればするほど、その問題は解決に導かれる…
…貴方もそうは思いませんか？

そうでしょう？ふふ。貴方は頭が良いようですね。助かります。
男性は強い性欲をもっている方が素晴らしいのです！
女性を孕ませる気概をもつ男性…それはつまり、世界の救世主なのです！
人はもっと交わり、もっと重なり、もっと気持ちよく感じ…SEXに興じる…
人間はそうあるべきだと、そうは思いませんか？

ふふふ。やはり貴方は私の見込み通りの男性ですね。素晴らしいです。
共感して頂けて大変嬉しく思います。

さて…それでは最初の質問に戻りますが…
貴方は最近、今までより性欲が強くなったと…
女性を見てムラムラすることが増えたと感じることはありませんか？
…なるほど。ここ１年程は以前よりもずっと性欲が強くなったと…。ふふふ。
では日常的にSEXを行っているのですか？
ふんふん、SEXをする相手がいないと…。ではオナニーを？
なるほど…今までは週に２・３回だったオナニーを、最近は毎日…しかも
１日２～３回行うようになったのですね。わかりました。
街を歩いている時に、目の前にいる女性とSEXしたいと思ったことはありますか？
…ふんふん。では、その女性をその場で犯してしまいたいと思ったことは？
…正直に答えて下さってありがとうございます♪
素晴らしいですね。性欲に溢れていて…立派ではありませんか。
素質あり、ですね。
…何の素質か…ですか？
それは、先ほども申し上げたように…
この世界の救世主になる素質、です♪

先程も申し上げましたが、この世界は今、少子化という現象に悩まされているのです。
だからこの世界の人間はもっともっと…性行為を行うべきなのですよ。
さらにそれだけではありません。
貴方…先ほどSEXを行う相手がいない、と仰っていましたよね。
これはどうしてでしょうか？

貴方のように性欲に溢れた素晴らしい男性を求める女性がいないというのは、
実に不可解です。
だってそうでしょう？子孫繁栄は人類存続において不可欠な願いのはずです。
ならば、より性欲の強い男性に惹かれ、女性が集まるのは必然のはず。
貴方はもっと、女性に求められて然るべきなのです。
なのに、貴方は一人寂しく自分を慰めるしかない…溢れるほどの性欲をお持ちなのに。
…それが何故だかわかりますか？
貴方に魅力がないから？…いいえ、そんなことはありません。
性欲の強い男性に魅力がないなんてありえません。
では何故貴方のことを女性が求めないのか…
本来ならもっともっと求められ、ハーレムをつくり、沢山の女性と交われるはずなのに…
何故貴方のような素晴らしい、性欲溢れる男性が欲求不満でいるのか…
その答えは
貴方が女性に求められる、その機会を奪う者がいるからです。

そう、貴方が女性と SEX できないのは、その邪魔者のせいなのです。
貴方だけではありません。実は…この世界の沢山の方がこの被害にあっています。

『PlatonicAngels』このアイドルグループをご存じでしょうか。
…そうですよね。もちろんご存じですよね。
半年前に結成された、現在人気急上昇中の新星アイドルグループ。
楽曲の売り上げも、1 年前にスタートした『DarksideMoon』に並ぶ勢いです。
今やどこにいっても彼女たちの曲が流れ、誰もがその曲を知っているでしょう。
貴方は…彼女達も応援していらっしゃるのでしょうか？

…ふふ、ですよね。
貴方が『DarksideMoon』一筋である事は、存じております♪
会員番号 1 桁台の方でも、最近は『PlatonicAngels』に熱を注いでいる会員の方も
いらっしゃって、大変寂しく思っております。そのような中、
貴方のように一途に『DarksideMoon』を応援して下さる方がいて下さって、
本当に嬉しいです。

さて…彼女達『PlatonicAngels』のお話をどうして今出したのか…ですが…
それは…彼女達こそが、**貴方のような素晴らしい性欲をお持ちの魅力的な男性と
女性が SEX する機会を奪っている…その邪魔者だからです。**

ふふふ。何が何だかわからない、というお顔ですね。
それでは、詳しくお話をしましょう。

まず、男女が性行為を行うには沢山のハードルがありますよね？
まずは意中の相手と両想いにならなければならないというハードル、
そして、体に触れるまで心の距離を縮めなければならないというハードル
そして、SEX に誘うということ自体のハードル。
大きく分けてもこれだけのハードルがあります。
なので、自分に自信がない男性や、コンプレックスのある男性は
折角素晴らしい魅力を持っていても、これらのハードルを越えることができないのです。
好きな人がいても、自信がないから声がかけられない…
街で歩く素敵な女性がいて、その人と関係を持ちたくても、
振られるのが怖くて声をかけられない…。そんな経験、ございませんか？
そうでしょう。
そして、これは多くの男性に当てはまることだと思います。
要は、所謂本能である『関係を持ちたい』『SEX したい』という衝動を
貴方自身の脳が**理性が**、今までの経験や悪いイメージを持ち出してきて拒否するんです。
だから声をかけない。結果、関係を持つタイミングを逃してしまうんです。

では、その悪いイメージを持ち出す**理性**を、
一時的に抑えることができればどうでしょうか。
例に挙げたようなハードルはなくなり、本能のままに行動できるようになるのです。
人間というものは愚かで、『理性に従う』ことこそが正義だと思っております。
だから SEX の機会が減り少子化につながる。少子化は人類滅亡へのカウントダウンです。
さらに、理性で性欲を抑えつけることにより欲求不満な人間が増え、犯罪が起こるのです。
理性を持つことは社会を生きる上では必要なことでしょう。
ですが、人類存続のためには、それが邪魔になることだってあるのです。
SEX のためには、人類存続のためにはまさにそう…理性が邪魔になります。

さて、ここからが本題です。
私達『EA プロダクション』は『Ext Aid』という組織が運営しております。
『Ext Aid』は人類滅亡の危機を救うため、人間の性欲を高め、
性における理性だけをキャンセルする…
そのような研究を行っております。
人間の『理性』を故意に外すことができれば…ＳＥＸしたいと思ったら交わる。

ペニスがムズムズすればすぐに交尾を行う。それが可能となります。
ああ、女性に気を使われているようでしたらご安心ください。
私達が理性をとばすのは何も男性だけではなく、女性もですから。
貴方が男性なので男性側で例をあげておりましたが、もちろん女性も同様に、
交尾に前向きになるように理性を外すことが可能です。
お互いが求めあう…これって、素晴らしいことだと思いませんか？
性に対する**理性**の作り出すハードルを取り払い、
皆が本能のままに交わることができる…

そしてそれを可能にしているのが、弊プロダクションが運営するアイドル
『DarksideMoon』というわけです。
彼女達の歌を聞いていると…ムラムラしてきませんか…？
体中からゾクゾクとした感覚が沸きあがり…ペニスが疼きませんか？
ふふ。でしょう。それは、彼女らの歌声にそういう力が含まれているからです。
彼女らには『Ext Aid』の研究により生み出された特別なレッスンを受けてもらいました。
この特別なレッスンにより、『DarksideMoon』の 2 人は歌を聞いた人間の
性欲増長と、性に関する理性をキャンセルする…特殊な歌声を会得したのです。
2 人はそれこそ血のにじむような努力をし…この力を得ました。
そして、その力は世間に幅広く受け入れられました。
今や誰もが羨む NO1 アイドルユニットです。
そして二人の歌声が広まり…多くの人間が様々な場所で本能のまま、交尾を行う現象が
広がっているわけです。私達は人類滅亡の危機を救う、世界の救世主なのです。
貴方も 1 年ほど前から性欲が増しているのですよね…？
それは、『DarksideMoon』の 2 人能力に他なりません。
まぁ、貴方の場合奥手なのと非常に理性が強かったこと、そしてもともと女性との
関りが少なかったことからどうやら全てオナニーで消化されてしまっていたようですが。

さて、そんな画期的で素晴らしい人類救済計画を立てた弊組織と、それを実行する
『DarksideMoon』の 2 人ですが…この計画を邪魔する者が現れました。

…厄介なことに、この国の政府なのですよ。
社会現象となった SEX…彼らの言葉を借りるなら、『辺り一帯で行われる乱交』。
これを問題視したわけです。
先見の明のない政府たちが、この現象を止めることは即ち自分たち人類の首を絞め、
滅亡のカウントダウンを進める愚行だとも知らずに…研究を始めたのです。
性に対する理性を失った人間を捕らえ、脳波をとり…そしてその外された『理性』を

取り戻す方法の研究です。
理性を外す、外さないは要は脳波のコントロールですので、『DarksideMoon』の歌声で
乱れた脳波を弄ることで、理性は戻るのです。
そして奴らは…ついにその『理性』を戻すためのプログラムを完成させました。
端的に言えば、私達と同じく…特殊な周波数を持つ歌を聞かせる方法です。
そしてその周波数で歌う特殊能力を身につけた存在、それが先ほどあげました
新星アイドル、『PlatonicAngels』なのです。
彼女らは政府の力で露出を増やし、人気を獲得し、今や『DarksideMoon』と並ぶ
大人気アイドルとなりました。
お蔭で彼女らの歌声により、『DarksideMoon』の歌でとばした理性も元通り…
人類の滅亡へのカウントダウンはまた針を進めることとなりました。
このままでは人類滅亡を免れることができません。
愚かな政府と、政府の犬にはご退場頂かなくてはいけないのです。
政府とその犬である彼女ら『PlatonicAngels』は邪魔なのです。
人類を滅亡に導く悪と言っても過言ではないでしょう。

彼女らを排除すれば、性に対する理性を戻す存在はなくなります。
ですから、皆本能のままにＳＥＸすることができるのです…！
貴方も…相手の女性がいない、なんて寂しい状態から抜け出せます。
『PlatonicAngels』がいなくなり、この世界に『DarksideMoon』の歌声が
もっともっと浸透すれば…貴方は…いえ、世界の男性も女性も
本能のままに好きな相手とＳＥＸ三昧、交尾し放題♪
誰にとっても最高の世界になります♪
もちろん、子どもが沢山生まれることで、人類も滅亡の危機から救われるわけです。
どうです？いいことづくめでしょう？

でも『PlatonicAngels』が政府の犬であり続ける限り…
その素晴らしい未来は訪れません。

そこで、貴方にお願いなのです。私達に力を貸して頂けませんか？
貴方の力が必要なのです。『PlatonicAngels』を排除するために…！

『DarksideMoon』の大ファンで『PlatonicAngels』には興味がなく、
性欲も強く、推しのアイドルのために時間もお金も費やする熱量を持つ貴方は…
『Ext Aid』にとって必要不可欠な存在なのです。

貴方の大好きなアイドル『DarksideMoon』の2人も、どれだけ歌っても
その力がキャンセルされてしまう状態で、大変困っているのです…
どうか、彼女たちの力になってあげてもらえませんか？

排除…といっても『PlatonicAngels』の女の子たちをイレイズするわけではありません。
彼女らを政府から抜けさせる…それだけでいいのです。
具体的には…ちょっと特殊なお薬を彼女たちの体に注ぐのです。
大丈夫です。毒や麻薬等人体に悪影響がある薬ではありませんから安心して下さい。
薬…といっても、注射器で注ぐわけではありません。
この薬は所謂…男性の精子を模してあり、女性の膣内に注入するものなのです。
これは『Ext Aid』が開発した、特殊な洗脳精子で…催眠・洗脳効果があるのです。
洗脳精子…とでも言いましょうか。
この洗脳精子を貴方のペニスで…彼女達の膣内に注いで欲しいのです。
この精子を子宮に入れると、体が入れた相手をご主人様と認識し、永遠に、
その人の言うことを全て受け入れてしまうようになるのです。
ですから、貴方が彼女達にこの洗脳精子を注入することで…
彼女達『PlatonicAngels』のメンバーは皆貴方に完全服従することになり、
さらに副作用で体の感度が上がり、体は精子を注いだ『ご主人様』を求めます…♪
この状態になった彼女達には何でも命令し放題ですから、
貴方が政府の犬を止めるように命令していただければそれでいいのです♪
その後彼女たちをどうするかは…貴方のご自由になさっていただければと♪
政府を抜けさせるだけでも良し、そのまま…自分の女にするも良し、
性処理道具にするも良し…全て、貴方の思い通りになるのです♪

ふふふ…。あ
それと、言い忘れましたがこのSEXが色んな場所で行われるといった社会現象の原因が
『DarksideMoon』であることはバレていません。
政府は私達組織『Ext Aid』の存在は認識しているようですが、どういった方法で
脳波異常を起こさせているか…等といった詳しいことはまだ解明されていないのです。
ですから、『DarksideMoon』自体は警戒はされておりませんし、
『EAプロダクション』が『Ext Aid』と関連があることもバレていません。
その辺りは安心して頂ければと。

どうでしょう…私からの、いえ、『Ext Aid』からのこの依頼、受けて頂けますでしょうか。

ふふ。…こんな世界の未来を左右する重要な役割、二つ返事では受けられませんよね。
自分に大したメリットの無い慈善事業のような状態では、この任務は務まりません。
特に『DarksideMoon』だけのファンである貴方に、『PlatonicAngels』のメンバーを
洗脳し、政府を抜けさせた後好きにしてもいいと言っても…
大したメリットにはなりませんよね。
たとえ自分の大好きな押しアイドルユニットが困っているといっても、
私に言われただけでは実感もわきませんし。

…さすが私が見込んだ方です。そうでなくては。
しっかりと考えて、自分自身のメリットを噛みしめて、
心から協力したいと思って頂かなくては…こんな重要な任務はお任せできませんから♪
では、もう少し具体的なお話をしましょうか。

0－1、（初めての人向け）具体的な方法と最高のご褒美

マ）簡単な説明は終わったわ。貴女達、入ってきなさい。
　　ふふふ。紹介します。貴方ももう十分ご存じでしょうけど、改めまして。
　　『DarksideMoon』の 2 人よ。
　　向かって右が双子の姉、魅月アリア（みつきありあ）。
　　向かって左が双子の妹、魅月エル（みつきえる）よ。

ア）こんにちは♡ 魅月アリアです。いつも最前列で応援してくれてますよね。
　　貴方、全部のライブと握手会に来てくれてるから…覚えてるわ♡
　　すごく熱心に応援してくれて…すごく印象に残ってます。
　　サイン会で私が話しかけても、緊張して何もしゃべってくれなかったことも…♡クスクス
　　握手すると顔真っ赤にしていつもぷるぷる震えてて…可愛い人って思ってました♪
　　宜しくお願いします♪
エ）…魅月エル（みつきえる）。君のことは僕も…覚えてる。
　　正直ファンの顔…あまり覚えるの得意じゃない。だけど、君とはライブでも握手会でも
　　毎回会う…。さすがに覚えた。…いつも、ありがとう。
　　宜しく。

マ）…あらあら。息をするの、忘れてますよ。口をぽかんと開けちゃって…
　　推しアイドルがこんな距離にいると、刺激が強すぎるかしら？ふふ♪
ア）ふふ、やっぱりかわいいですね♡　緊張しないで下さい。
　　今日は私達、お願いに来たのですから。
エ）そう。お願いにきた。だから、緊張しなくてもいい。僕達は、君にお願いする側。
マ）うふ。では話を進めます。まずは貴方にとって一番大事な…
　　報酬の部分からお話しましょうか。
　　貴方に、私達に協力するメリットを提示させて頂きます。
　　貴方への報酬…それは、貴方の推しアイドルであるこの 2 人…
　　『DarksideMoon』のアリアとエルに…
　　エッチなことをしてもらえる…これで如何でしょうか？
　　…ふふふ。固まってますね。息、また忘れてますよ。ふふふ…
　　そう、貴方が『PlatonicAngels』のメンバー1 人を洗脳し、政府から抜けさせる度に
　　貴方のエッチなお願いを…この 2 人がその都度 1 つだけ、聞いてくれるんです♡
　　もちろん、嫌々なんかじゃありませんよ。寧ろ、これは二人が決めたことです。

ア）ふふ♪大変な役割を担ってもらうのですから、これくらいは当然です♪
いつも応援してくれてる貴方なら嫌じゃないですし…
それに、さっきも言いましたけど…ずっと貴方のこと可愛いって思ってて…
貴方になら、エッチなことしてもいいなって♡
もしこのお仕事頑張って下さるなら…ねぇ、エル？

エ）姉さんの言う通り。僕も嫌じゃない。
君にはいつか、いつも応援してくれるお礼をしたいと思っていた。
だから、受けてくれるなら、それくらいは構わない。

マ）だ、そうです♡　そして、もし貴方が『PlatonicAngels』のメンバー全員を洗脳し、
政府から抜けさせることができれば…その時は

エ）僕たちと…最後まで、で、どう？
ア）ふふ♪いいですね♪
『PlatonicAngels』のメンバーを 1 人洗脳して政府から抜けさせる度
口や手、…太もも、おっぱいで…中に入れる以外のエッチなお礼をさせてもらって…
そして全員を洗脳して政府から抜けさせることができれば…

エ）姉さんと僕、2 人で最後まで、しよう。
危険な任務の上、この世界を救う HERO だから。
それくらいのことはさせてもらうべき。

マ）…如何でしょう？この条件で。
貴方は世界を救うために政府の犬である『PlatonicAngels』を洗脳し、政府を抜けさせる。
成功した暁には政府を抜けさせた『PlatonicAngels』のメンバーを好きにすることができ、
なおかつ貴方が最も推しているアイドルユニット『DarksideMoon』の二人に
エッチなご褒美をもらえる…全員の洗脳に成功すれば、アリアとエルと SEX ができる。
これ以上ない最高の条件かと思いますが。

ア）ふふ♪覚悟が決まったみたいですね♪興奮してちょっとお顔が赤いですけど♪
ふふふ‥
えっち♡　性欲に溢れいて…それでこそ男性ですね。男性はそうでなくては♡
性欲はこの世界を救うためのパワーですからね♡　頼りにしてます♡
エ）大丈夫…君ならできる。
僕も性欲が強い男性は最高だと思ってる。君と SEX できる日が待ち遠しい。

マ）うふふ。決定ね。ご協力、感謝致します。
それでは無意識、無思慮に世界を滅ぼさんとする政府の犬『PlatonicAngels』と
共に戦い、世界を守りましょう。

貴方が戦う相手は『PlatonicAngels』のメンバー5 人。
立花ハルカ（たちばなはるか）
望月りん（もちづきりん）
水瀬さやか（みずきさやか）
宝哨あやめ（ほうしょうあやめ）
早乙女さキ（さおとめさき）
です。
流石に一度に全員を相手にすることは難しいです。

ですが、彼女らの目的は性に対する理性がキャンセルされた脳波をもつ人間に
歌の力でその理性を取り戻させること。
なので常に 5 人でいると効率が悪いため、全員で歌うイベントがある時以外は
全国の主要都市 5 か所を拠点に、個人でアイドル活動を行っているのです。
そこを狙いましょう。
このアリアとエルは性的な理性をキャンセルさせる歌声を会得した際に…
副産物として色々な力を使えるようになっています。
私達はその副産物の力を『フレア』と呼んでいます。
本当に一時的なものではありますが…例えば催眠の力、体に状態異常を起こさせる力、
幻覚を見せる力、周りの人間を操る力、人外や触手を操る力等…色々と。
アリアが主に催眠や幻覚、人間の脳を刺激する力を。
エルが実際には存在し得無いものを生み出すことのできる創造の力を使えます。
ミッションをスムーズに進めるため、この 2 人、アリアとエルが
貴方をその力…フレアでサポートし守りますから、ご安心ください。

それでは早速…今回のターゲットのお話、そして彼女達に注ぐ精子のお話…
洗脳精子を貴方の体内に宿らせる手順を。説明させて頂きますね。

【ここまでが、全てのシリーズで共通のファイルです。】

1、ミッション説明　＊初めてバージョン

マ：では、今回のターゲットとミッションの手順についてまずはお話させて頂きます。
今回のターゲットは『PlatonicAngels』の立花ハルカ（たちばなはるか）です。
今や国民的アイドルですので貴方も基本的なことはご存じかと思いますが念のため。
立花ハルカ、『PlatonicAngels』所属。
一番最初に政府にメンバーとして選ばれ、その後は彼女自身が現在のPlatonicAngels のメンバーを集めたようです。
歌、ダンス共に並ではありますが、ひたむきに努力する姿勢と前向きで明るいキャラクター性が評価され、高い人気を得ています。
PlatonicAngels の個性的なメンバー全員が彼女の言葉と熱意に動かされ、チームに加入、活動を続けていることから、カリスマ性も強いと考えられます。
ファンには『はるにゃん』という愛称で呼ばれ性別や年齢層問わず幅広い層に人気です。
後備考ですが、身長 156cm バスト C カップ。
5 人のライブイベントが無い時は A 地区を中心に個人でアイドル活動…
いえ、政府の犬としての活動を行っております。
本日、立花ハルカは A 地区の S ホールでオンリーライブの予定です。
既に EA プロダクションからから依頼を出し、貴女達 DarksideMoon の二人をスペシャルゲストとしてライブの最後に登場させてもらえるように話をつけています。
PlatonicAngels と DarksideMoon は 2 大アイドルグループとして競り合っている状態ですので、事務所には渋られましたが立花ハルカ本人が快諾したとのことで何とか舞台は整えられました。
ア：…よくやりますよね。世間でも完全にライバル扱いなのに…
マ：ライバルとも壁がなく接する天真爛漫なアイドルとなればイメージアップに繋がる…というのと、貴女達 Darksidemoon にとっても、新人アイドルとも仲良くできるトップアイドルとしてイメージアップになり WinWin であると説得させて頂きました。

ア：…相変わらずの敏腕マネージャーっぷりですねぇ…
エ：…よくやる…。

マ：もちろん、オオトリは立花ハルカのみとなっておりますが…その時はもう、彼女は洗脳済でしょう。代わりに沢山、ファンの前で喘がせて差し上げては？
ア：…わかりました。
エッチで色っぽい悲鳴という歌をファンの皆さんにお届けできるように頑張ります～
エ：…頑張る。

ア：…でもちょっと待ってください。そういえば昨日会場の下見にいきましたけど…
そこそこ広めの会場でしたよね。ファンの目はどうするんです？
マ：それはアリアのフレアで洗脳をお願いしようと思っているのですが。
ア：…冗談ですよね？人数が多すぎます。
全員に催眠をかけられる保証も、力を持続できる保証もありません。
途中で催眠が解けたら大問題ですよ？！
マ：その点は安心して下さい。こちらで貴女のフレアの力を拡張し、館内の全員に効果をいき渡らせるようにする設備を整えました。
ア：…それ、本当に大丈夫なんです…？
マ：心配には及びません。『Ext Aid』の研究部門が太鼓判を押したシステムです。
ア：ならいいですけど…じゃあ私は今回サポートですね。
エ：なら、僕が立花ハルカの相手をするということ？
マ：そうなるわね。
エ：…わかった。
マ：では、催眠の準備等の間、私が向こうのマネージャー等政府関係者を引き受けます。
出番になりましたら、宜しくお願いします。
本当なら、もう少し規模の小さなイベントや取材等で彼女を確保できればよかったのですが…PlatonicAngels の他のメンバーを確保する日程と合わせると、
このイベント以外、貴女達をねじ込むのが難しく…。
今回は大変でしょうが、アリアのフレアで会場全体を催眠にかけ、
エルのフレアで立花ハルカの凌辱をお願いします。そして機を見て
HERO…貴方が彼女の膣内に洗脳精子を注ぎ込んで下さい。
それで今回の任務は完了となります。
ア：承知しました～。
エ：了解。
ア：正直ハルカさんとは懇意にさせて頂いてますし、努力もされている方ですから
なんとも複雑な気持ちです…。
ですが、敵なのですから仕方ありません。
政府を抜けてもらい、私達の崇高な目的の邪魔にならないようにするには
こうするしかありませんから。
何といっても、世界のためですからね！

マ：その通りです。彼女は間違った考えを政府によって刷り込まれ、自分達こそが
世界のため、正義のために戦っていると深く信じ込んでいるのですから…
全くもって、仕方ありませんね♪

あらあら、難しい話が多くて置いてけぼりになってしまいましたか？
要は、立花ハルカのオンリーライブ中に立花ハルカを凌辱し、貴方が彼女の膣内に
中出しすれば OK、ということですよ。
心配なさらなくても、こちらで舞台は整えますのでご安心ください。
貴方はアリアとエルの指示に従って下さい。それだけで結構です。
後は立花ハルカとのセックス中に**洗脳精子**を中出しして頂ければ任務完了となります。
…如何でしょうか？

ア：…ふふ、緊張してるみたいですね？大丈夫ですよ。私達がついているんですから。
エ：大好きな僕達の前でのセックスに引け目を感じてる…というのなら、気にしなくていい。
これは、作業だから。
ア：そうですよ♡　PlatonicAngels とのセックスは作業。任務を遂行するための…ね♡
本当に愛のあるセックスとは…別です♡
任務が終わったらご褒美も兼ねて、私達が貴方のこと…
いっぱい愛して差し上げますから…まずはお仕事、一緒に精一杯、頑張りましょう♡
エ：君には、期待してる。

マ：…ふふ。大丈夫そうですね。では私は任務完了の合図を受けたらお迎えにあがります。
それでは何卒宜しくお願い致します。
アリア、エル、後は任せましたよ。
ア：わかりました。
エ：わかりました。

２、洗脳精子生成　＊初めて聞くバージョン

ア：さぁ…では PlatonicAngels の中に出すための洗脳精子を作りましょう♪
　　ふふ…私達に任せて下さい。
　　作り方は教わってますから…貴方はそのまま立ってて下さい。
　　まずはこの瓶のお薬を私達が口に含んで…口移しで貴方に飲ませます。
　　このお薬は洗脳精子をつくるためのお薬なんです。では、失礼して…
　　んっ…
エ：僕も…んっ…

ア：じゅる…じゅるる…じゅる…ぐちゅ…じゅっぷ…じゅっじゅ♡じゅる～…じゅぽ♡
エ：じゅる…じゅるる…じゅる…ぐちゅ…じゅっぷ…じゅっじゅ♡じゅる～…じゅぽ♡
ア：ふふ…♡3 人でキスって…すっごくエッチ…ね　♡んっ…お薬、もう少しよ♡
エ：はぁ…口移しのキス…気持ちいい…んっ…僕達とキス…嬉しいの？ドキドキしてるね。

ア：じゅる…じゅるる…じゅる…ぐちゅ…じゅっぷ…じゅっじゅ♡じゅる～…じゅぽ♡
エ：じゅる…じゅるる…じゅる…ぐちゅ…じゅっぷ…じゅっじゅ♡じゅる～…じゅぽ♡

ア：はぁ…舌が糸引いて…るわ…ふふふ…　はぁ…　はぁ…
エ：ん…すごい、えっち…　はぁ…　はぁ…

ア：どぉ？ちゃんとごっくんできたかしら？
エ：そう。ならよかった。…えらい。

ア：今のお薬は私達の唾液と貴方の唾液で完成するお薬だったんです。
　　今そのお薬が貴方の中に入って…吸収されてます。
エ：今からその薬を反応させる。反応させることによって、吸収された薬は洗脳精子になる。
ア：反応させる…というのは、貴方を感じさせるってコトなんです。
　　そのお薬は催眠・洗脳の作用があって、それを PlatonicAngels のメンバーに注ぐわけ、
　　なんですけど…それを洗脳精子にするためにはもう１ステップありまして…。
　　貴方の性感帯を刺激して…気持ちよく感じてもらう…それが必要なんです。
エ：そうすることによって、薬は洗脳精子になる。
ア：ふふ。そういうことです。でも射精までさせてしまうと
　　洗脳精子がうまく生成されない場合もありますから、射精しない程度に…ね。
エ：何がいいか、姉さんと考えた。射精までいかない、気持ちいいこと。
　　結論、耳を舐める。というのはどうか…という話になったのだけど、どう？

ア：耳も性感帯って言うじゃありませんか？試してみても…いいでしょうか？
エ：ありがとう。では、失礼する…んっ…
ア：じゃあ私も…んっ…

ア：ちゅ…ちゅぱ…れろ…ぺろぺろぺろ…じゅ…じゅるる…じゅぷ…れろれろれろ…ちゅ♡
エ：ちゅ…ちゅぱ…れろ…ぺろぺろぺろ…じゅ…じゅるる…じゅぷ…れろれろれろ…ちゅ♡

ア：はぁ…んっ…ふふ…体、びくんってして…いい反応ですね♡　お耳、気持ちいいですか?
エ：はぁ…はぁ…　すごい…耳が赤くなって息が荒くなってる…姉さん、これ、いいみたい。
ア：そうね。じゃあ…洗脳精子生成には…お耳を舐めるってことで…んっ…れろ…れろぉ♡
エ：それが、いい。ん…ちゅる…ちゅぷ…れろれろ…じゅぷ…ちゅぷぷ‥はむ…れろぉ♡

ア：れろぉ…ちゅぱ…じゅる…はむ…くちゅ…ちゅぷちゅぷちゅぷ…ちゅぷぅ…くちゅ
じゅぷぷ…じゅぷ…ぬちゅぅ…れろれろれろぉ～れるれる…れろぉ～ちゅ‥ちゅ♡
くちゅぅ…ちゅっぷちゅっぷ…ちゅぷ…ちゅぷぷ…れろぉ～…れろれろれろぉ～♡

エ：れろぉ…ちゅぱ…じゅる…はむ…くちゅ…ちゅぷちゅぷちゅぷ…ちゅぷぅ…くちゅ
じゅぷぷ…じゅぷ…ぬちゅぅ…れろれろれろぉ～れるれる…れろぉ～ちゅ‥ちゅ♡
くちゅぅ…ちゅっぷちゅっぷ…ちゅぷ…ちゅぷぷ…れろぉ～…れろれろれろぉ～♡

ア：ちゅぱぁ…はぁ…はぁ…♡　ふふ、これ以上すると…射精しちゃいそうですね♡
エ：ちゅぷ…はぁ…はぁ♡　体が小刻みに震えてきた…これ以上は、射精の危険性が有る。
ア：ふふ…おちんちん、ぎんぎんになってるの…ズボンの上からでもわかります♪
エ：随分固くなってる…テント、張ってる。
ア：性欲が強い男性ってホント素敵です…♡
エ：僕も、そう思う。君は、とても素敵。
ア：ふふ。さぁ、これで洗脳精子の準備は完了よ。
エ：洗脳精子はものの 1 時間程で君の精巣に宿る。仕事の時間には問題なく宿っている。
ア：洗脳精子を膣内射精すれば、催眠・洗脳効果を発揮して相手は永遠に
貴方の言いなりになります。
大体 3 射精分ですかね。4 回目以降は普通の精子だと思って頂ければ。
大丈夫です。緊張しなくても 1 発でも相手の子宮に中出しできれば問題ありません♪
エ：万が一失敗しても、僕達がいる。何があっても君を守ると誓う。
ア：…そういうことです♡　じゃあ、早速向かいましょうか。
今回のターゲット
立花ハルカ（たちばなはるか）のもとへ。

３，正統派アイドルリーダー　立花ハルカ　挨拶編

ア：さて…ここがハルカさんの控室です。
　　今から挨拶しますので、私達の後について入ってきてください。
　　まぁ、ハルカさんは気さくな方ですし、そんな固くなる必要はありません。
　　貴方は本日、私達の代理のマネージャーということでお願いしますね。
エ：　君は挨拶する以外、特に何も喋らなくていい。
　　この後一緒に行動していても不振に思われないようにするために紹介するだけだから。
ア：じゃ、行きましょうか。
エ：うん。
ア：ハルカさーん、こんにちは～♪DarksideMoon のアリアとエルです～♪
　　ご挨拶に伺いました～♪
ハ：あ！は～い！あっ
　　いっ…！
ア：な…何かすごい音しましたけど…大丈夫ですかぁ…？
ハ：だ…大丈夫ですぅ…イタタタタ…は、入って下さーい…
ア：だ、大丈夫ですか…？何事です？
エ：これは…大惨事。片付け、手伝う。君も。落ちたペットボトル、拾って。
ア：あらあら、机に脚をぶつけたんですか？大丈夫です？見せて下さい…
ハ：だ、大丈夫ですよ、これくらい！いつものことですから！
　　い、いいですよエルさん！あ、貴方も…！自分でやりますからっ
エ：大丈夫。すぐ、終わる。
ハ：そ、そんな…でも…
ア：それよりハルカさんは足を見せて下さい。今からライブなのに足を痛めてたら大変です。
　　ほら、椅子に座って、ぶつけたところ、出してください。
ハ：え？え？い、いいですよぉ！ほんと、ぶつけただけなんで…！
　　そんなアリアさんやエルさんにお気遣い頂くことじゃ…！
ア：いいですから、ほら、業界の先輩命令ですよ？椅子に座って足を見せて下さい。
ハ：うっ…は、はいぃ…
ア：はい、素直でよろしい。…って、痣になってるじゃないですかぁ…
　　アイドルがライブ前に青痣作ってどうするんです…
ハ：ううう…すみません。
ア：まったく…痛みます？大丈夫です？
ハ：あ、はい。よくやりますし。大丈夫ですよこれくらい！
ア：まったく…いつものことじゃありませんよ。
　　ほら、私のファンデーション塗って誤魔化してあげますから…動かないでください。

ユ：うう…すみません…
ア：このファンデは傷もカバーできて衣装につかないリキッドタイプですから、これで
　　痣も隠せます。安心して下さい。んもぉ…気を付けて下さいね。
ハ：はいぃ…ごめんなさい…。ありがとうございます…
エ：片付け、終わった。君も、手伝ってくれて、ありがとう。
ア：お疲れ様です～
ハ：うう…すみません、エルさん…。あ、えっと、貴方は…
ア：彼は私達のマネージャーです～
ハ：あれ？あの美人なマネージャーさんは…
ア：今日は、別の仕事があって～…今日私達についてくれるのはこの人なんです～♪
ハ：そうなんですね！宜しくお願いします、立花ハルカです♪
　　アリアさんとエルさんにはいつもお世話になっています！
　　今日は宜しくお願いします！
ア：今回は事務所が無茶言ってすみませんでした…
　　折角のオンリーライブなのに私達がお邪魔することになっちゃいましたね。
　　リハも時間合わなくて参加できず…申し訳ないです～
ハ：いえいえ！そんな！とんでもないです…お二人はお忙しいの知ってますし！
　　というか、お二人と一緒にステージに立てるなんて夢みたいですよっ！
ア：そう言って頂けると嬉しいです～♪
ハ：私、お二人のこと大好きなんですよね！歌もダンスも息ぴったりでカッコ良くて…
　　笑顔もいつもキラキラしてて…！あ、エルさんはあんまり笑わないですけど、
　　それもまたミステリアスでカッコよくて…
　　それにそれに、ファンの方の声とか聞いてても、お二人は本当にファン思いなんだなっ
　　て伝わってきますし…すっごく尊敬してますっ！
　　私も見習わなきゃっていつも思っててっ…！
ア：ふふ、ありがとうございます♪そんなに褒められると…照れちゃいますよ♪
エ：…照れる。
ハ：えへへ♡TV とかで共演の時も、スタッフさんや私達みたいな新人アイドルにも
　　優しくって…ホント憧れっていうか…大好きなんですよね♪
　　私もお二人みたいな素敵なアイドルになれるように頑張りますっ！
ア：ハルカさんったら…ふふ。ありがとうございます♪
　　じゃあ、今日はよろしくお願いしますね。
ハ：はい、こちらこそ！今日は宜しくお願いします！ライブ頑張ります！
ア：はい、頑張って下さい♪では、2 時間後、ステージ裏で。
ハ：はい、宜しくお願いします！

４，作戦会議

ア：ふぅ…相変わらずハルカさんは明るくて楽しい方ですね～♪
素直で真面目で明るくて。アイドルとしての姿勢も、私は好きですし♪
エ：…僕も、嫌いじゃない。
ア：できれば良きライバルであり、お友達になりたかったです～。
ま、世界を破滅に導く政府の犬をしているのですから、仕方ありませんね♪
エ：残念。でも、仕方ない。
ア：正義と世界を救うという崇高な目的のためには敵として戦うしかありません。
HERO である貴方も！彼女がイイ子だからといって情けをかけたり躊躇っては
いけません。世界のために…私達のために…頑張って下さいね♡
それに…ハルカさんは政府に一番最初に選ばれた方ですから要注意です。
おそらく彼女らも何らかのフレアを獲得していると思います。
ですので、力を使わせる前に凌辱し、洗脳しなければなりません。
一瞬の気の緩みが命取りです。気合を入れて頑張りましょうね！
エ：…わかった。
ア：エル。私は今回会場全体にフレアを使わなくてはなりませんから、
あまり援護できません…。会場で使う‥ほら、ナナオさんの言っていたフレアの
拡張機。見てきました～…確かにあれなら大丈夫そうですけど…それでも
かなりのフレアを必要としますから、正直余力は殆どないと思います。
ハルカさんの凌辱は完全にエルにかかりますが、大丈夫ですか？
エ：問題ない。手筈は整っている。
ア：そうですね。
今回はライブ会場ってことですから…いろいろ仕込みができますからね。
『例のモノ』も仕込めましたし…。
それに私達が敵だと分かればメンタルにも相当クルと思います。
会場全体にかけるフレアの濃度では、特殊体質のハルカさんにはききませんが、
これだけの材料が揃えば、エルの攻撃をよけきることはできないでしょう。
エ：…僕の力は姉さんのフレアと違って色々と発動条件があって面倒。
力を発動するまでの時間稼ぎも彼女の集中を乱すことも必要になる。
今回は場所と時間、そして条件から、触手やスライムを使用するのが
立花ハルカを捕らえ、凌辱するのに適切だと考えられる。
ただ、そのためには…今回は自分の体を使う必要がある。
触手は腕を、スライムは汗や唾液を形状変化させる。
これらは力を一気に消費するから、あまり長時間は使えない。
ア：短時間で確実にキメなくてはなりませんね。頑張りましょう。

エ：君のことは精一杯サポートする。任せて。
ア：何かあれば最優先で貴方をお守りしますから、貴方はただ、世界の平和のために
　　彼女で気持ちよくなり、この世界の、そして私達の HERO になって下さい♪
エ：大丈夫。手…握る。ぎゅ…
ア：ふふ、こちらの手も貸してください。ほら…ぎゅ…　どうです？安心しました？
エ：鼓動が、ゆっくりになった。
ア：手も温かくなってきましたね。ふふ。緊張しないでください。
　　貴方は私達が呼んだらステージに来ていただければ♪
　　‥さ、では時間まで少し寛ぎましょうか。温かいお茶でも飲みましょう。
エ：僕が、淹れる。美味しく、淹れる。任せて。

５,ハルカの動揺～仲間全員の凌辱がスクリーンに…～

ア：さて…あと５分で私達の出番です。
　　今回はフレアを使うタイミングも使う量も相手も最高難易度です。
　　絶対に気を抜かないように頑張りましょうね。
　　正義のため、世界を守るためにも、私達がやらなくてはいけないのです！
エ：了解。…頑張る。
ア：あら？貴方…ふふ…緊張してるんですか？
　　大丈夫ですよ。貴方のことは、私達が必ず守りますから♪
エ：必ず守る。君は安心して、立花ハルカと SEX して。　舞台は整える。
ア：正義を気取る悪のヒロインを洗脳して…世界を正しく導きましょう♡
エ：手…冷たい。貸して。温める。
ア：私も。２人で手をきゅっと握って…温めてあげますね。
　　ほら…私は左手を…きゅ…♡
エ：僕は右手を…きゅ♡
ア：少しは落ち着きました？ふふふ♡
エ：手が、少し温かくなった。緊張、ほぐれた。
ア：すこ～し手汗まで出てきましたね♡
　　私達に手を握られて…別の意味で緊張しちゃいました？なーんて♪ふふふ♡
エ：…姉さん、そろそろ時間。
ア：そうですね。では、そろそろ行きましょう♪
　　貴方は私達が呼ぶまで舞台端にいて下さいね♪

ハ：今日は特別ゲストになんと！『DarksideMoon』のアリアさんとエルさんが
　　来てくださったんです♪すごいでしょー！今から一緒に 1 曲歌わせてもらいます♡
　　人気 NO1 アイドルの大先輩と一緒に舞台に立てるなんて、夢みたいっ！
　　皆、一緒に盛り上げてねっ♡

　　あ、あれ？…あれ？皆―？どうしたの？びっくりしちゃって声が出ないのかなー？
　　急にシーンってなりすぎて私がびっくりだよっ！皆どうし…
　　あ…あれ…？あれれ？皆…ぼーっとして…どうしたの？何だか雰囲気が…

エ：フレア、生体変化。右手を触手に変換。
　　うっ…ぐううう…くうううっ！
ハ：え…？エル…さん…？何？え？
　　どうし…大丈夫ですかっ…
　　え…え？ひっ…う、腕…腕、エルさん！それ…

ア：やっぱり…いくら機械でのサポートがあっても…この量の力を使うのは大変ですぅ…
ハ：何が…どうなって…
エ：右手を触手に変換、完了。攻撃を開始する。
ハ：え…？

ハ：ひっ…きゃああああああっ！あ"っ…いやあああ！
　　何…何コレ？！しょ、触手？！ひっ…！はな…離してっ…いやああああ！

エ：確保、完了。
ア：オッケーです♪エル、まだ余力はありますか？
エ：まだ、余裕。
ア：そうですか♪ではハルカさんをしっかり捕えていてくださいね。
エ：わかった。
ア：準備完了です。HERO さん、こっちに来てください～♪

ハ：はぁ‥はぁ…　な、何が起こって…　これは一体…
ア：ハルカさんごめんなさい～♡　私達、『ExtAid』の者なんです～…って言えば、
　　今の状況を理解して頂けるでしょうか～？
ハ：ExtAid…？え…アリアさんと‥エル…さんが…？え…？え…？
ア：はい～♪そうです。私達は ExtAid に雇われたアイドル。貴女達やこの国の政府が
　　血眼になって探している、その ExtAid です♪

ハ：そ…そんな…。じゃ、じゃあ…この触手や…観客の皆がこんなになってるのは…
ア：ご想像通り、私達の力…ですよ♪ハルカさんも何らかの力はお持ちなのでは？
　　その歌で脳波を正常化する能力を得た時に、副産物として得たこの力…
　　私達はフレアと呼んでいますけど。
ハ：そ、そんな…そんな…！嘘…嘘…！アリアさんとエルさんが…そんな…
ア：あらあら、まだ現実が受け入れられないようですね♡
ハ：嘘…嘘です…よね？嘘って言って下さいっ…！そんな…そんなっ…！
　　皆の脳波を狂わせて、皆をおかしくさせてたのがアリアさんとエルさんだったなんて!
　　嘘です…嘘って言って下さいっ！
ア：…ふぅ。残念ながら嘘ではありません。
　　私達は世界中の人ため、この世界の未来を救うためにこの活動を行っています。
ハ：そんな…脳波を狂わせてエッチなことへの理性を奪う事のどこが世界のため
　　なんですかっ…！アリアさんエルさん‥間違ってます…！
　　目を…目を覚ましてくださいっ…！
ア：私達の考えを受け入れて頂く必要はありません。
　　政府の犬である貴女達 PlatonicAngels は私達 ExtAid の考えが間違っていると政府に
　　洗脳されているのでしょうから、お話してもどうせ無駄です。
ハ：そんな…！うっ…！エルさん…これがエルさんの力なんですか…？
　　右手を触手に変えて操る…ううう…は、離して‥離してくださいっ…！
エ：そう。生体変化が、僕の能力。離すことは、できない。寧ろもっと…強く縛る。
ハ：うっ…ぐうううううう…いやっ…あっ…ぬるぬるして…気持ち悪い…
　　イヤ…いやあああああっ！

ア：さて…では改めて彼のことを紹介しましょう。
　　先ほど彼のことは私達の臨時マネージャーと紹介しましたが、実はこの方、
　　この世界を救う救世主、HERO なのです。
ハ：ひ…HE…RO…？
ア：はい♪そうです。HERO、です。
　　世界を破滅へ導くこの国の政府が雇った貴女方 PlatonicAngels の皆さんを洗脳し…
　　排除するための、HERO です♪
ハ：な…何を言って…
ア：貴女方 PlatonicAngels は私達の敵であり、世界を滅ぼす悪です。
　　世界の未来を守るため…貴女方は邪魔なのですよ～♪
　　でも、私達がお願いしても、素直に今の活動を止めて下さったり…しないですよね?
ハ：私達が世界を滅ぼす悪…？違うっ！おかしいのは貴女達 ExtAid の方でしょ？！
　　何を言って…

ア：ほ～ら、お話になりません。貴女方と私達ではお話しても無駄なのです。
ですから、もう…仕方ありませんよね。敵は排除するしかないのです。
ハ：そんなっ…！
ア：彼は私達 ExtAid の考えに賛同して下さった、世界を救うための HERO です。
今から彼には…ハルカさんと SEX して頂きます♪
ハ：…な、何を…言って…
ア：うふふ…♡　彼の精液には ExtAid が開発した洗脳精子が含まれています。
これを貴女の中に射精して頂くんです♪
ハ：え…？　え…？　だから…何言って…
ア：ハルカさん、貴女の中に洗脳精子が入れば、貴女はもう彼の奴隷です♪
一生…彼に逆らうことができなくなります♡
そして彼は私達 DarksideMoon の一番のファンなんです♡　私達の言うことなら…
な～んでも聞いて下さります♡　ね？そうですよね？
…うふふ♡　つまり…洗脳精子を中出しされたハルカさん、貴女はもう、
私達 ExtAid に逆らえなくなる…ということです～♡　お判りいただけましたか？
ハ：そん…な…　イヤ…イヤぁあ！　そんなこと…絶対させないっ…っく…
ア：抵抗しても無駄です～♪エルの力で貴女はもう…身動きが取れませんから♡
エ：もう、諦めるべき。立花ハルカ、君はもう…自由には動けない。
ハ：ううううっ…うっ…くうう…！離してっ‥離しなさいっ…ううう…！ぐっ…くうう！
エ：暴れても無駄。
ハ：くっ…だ、誰かっ…！
ア：無駄ですぅ♪この会場全体に私の力を使っているんです♪
皆さん催眠にかかって意識がぼんやりしていますから♪
それに、政府の関係者やハルカさんのマネージャーは私達の本当のマネージャーが
今頃別のお部屋で…ふふ。まあこの辺りは私達には関係ないことですからアレですが
ともかく、貴女を助けてくれる人は誰もいませんよ♡
ハ：っ…！くうっ…っ…
ア：さぁ、では大人しく犯されてください♡
ハ：くっ…こ、こんなことしたくなかったし…こんな力‥使いたくなかったけど…
ごめんなさいっ…！ライトヒート！
エ：ぐっ…あああああああああ！
ア：なっ…エルッ！
ハ：触手が緩んだっ…！今のうちにっ…
ア：動かないでくださいっ！PlatonicAngels の他のメンバーの皆さんが
どうなってもいいのですかっ？！
ハ：えっ…

エ：くうぅうっ…はっ…　はっ…はぁ‥　はぁ…　はぁ‥はぁ…
ア：エル…大丈夫ですか？！よくもエルに‥私の可愛い妹に攻撃を…！許せません！
エ：はぁ‥はぁ…問題、ない…　はぁ…　はぁ…　くっ…　姉さん、冷静に…
ア：っ…わかってます…。っ…
　　貴女の力は光…ですか…熱で触手を…。厄介な力ですー。
　　エルの力とは相性も良くありませんね。
　　でも…これ以上その力を使えば、貴女のお仲間がどうなるか…
ハ：仲間…？皆に何をしたの…？
ア：そうですね…説明するよりも見て頂いた方が早いでしょう。
ハ：な…何…これ…！
　　ユキ…さん…？嘘‥何…これ…！
　　さ、さやかちゃん…そんな…
　　凛…？嘘…嘘でしょ…
　　あやめさん…まで…う…嘘…こんな…
　　うぁ…あ…こんな…　はぁ…　はぁ‥　はぁ…　はぁ…嘘…　嘘…！　皆…
ア：他の皆さんは既に洗脳済みです♡今は ExtAid の基地で楽しく過ごして頂いてますよ♡
　　但し…ハルカさんがこれ以上抵抗するなら…彼女達の命は保証できません。
ハ：そんな…！こ、こんなの、嘘…！つ、作り物の映像に…決まって…
ア：ふふ、そうですね。そうかもしれません♪
　　でも、貴女にそれを確かめる術はありません。これはハルカさんを抵抗させないために
　　ExtAid が作った動画…かもしれませんもね。いえ、きっとそうでしょう。
　　なら、これは作りものだと決めて抵抗してみるといいです♡
ハ：っ…
ア：但し…これが本物の動画だった場合‥ふふ、これ以上、言わなくても分かりますよね？
ハ：うう…ううぅっ…！
ア：仲間思いの貴女のことですから…この動画が本物か偽物かの判別がつかない以上…
　　抵抗は…できませんよね♡　それとも、雇い主の政府のために、これが偽物の動画だと
　　信じて私達と戦いますか？仲間が犠牲になる可能性を考えずに♡クスクスクス♡
ハ：くうう…ふぅ…アリアさん‥エルさん…こんなこと…おかしいです…！
　　もう…やめて下さいっ…！
ア：話し合うことは無意味ですー。どうせ平行線なのですから。
　　私達は私達の正義と正しさを貫くまでです。
　　私達にとって、貴女は世界の未来を潰す悪です。
　　ハルカさん、貴女のことは嫌いではありませんでしたが…敵ですから
　　致し方ありません。
ハ：…うう…そんな…　どうしたら…うう…皆…！でも…このままじゃ…

６，触手とスライム攻め

エ：大丈夫。心配ない。支えてくれて、ありがとう。もう、平気。
　　そんなに不安そうな顔をしないで。僕は大丈夫。
　　怒っているの？立花ハルカが僕を傷つけたことに…
　　…そう。なら、お願い。その怒りをもって、彼女を犯して。
　　洗脳精子を彼女の中に…射精して。…援護する。
ア：無理しないでくださいね。大丈夫です…？エル。
エ：大丈夫。少し火傷しただけ。それより。力の消費が心配。そろそろ、キメる。
　　まずは立花ハルカを少し大人しくさせる。
　　あまり暴れられると、挿入しにくいと思うから。
ア：そうですね…私の力もいつまでもつかわかりませんし…お願いします。
エ：了解。今度は僕の汗と唾液を…スライムに変換する。
　　これで立花ハルカの衣服を溶かす。そして…まぁ、見ていて。

ア：さすがです～♡　エルの唾液と汗がスライムに…
　　って…これ、生きてるんですか？
　　勝手にうごうご動いてますけど…。なんだかどんどん増殖してますし…
エ：生きているというよりは、僕の意思に連動して動いている。
　　また、これはどんどん分裂して勝手に増えていく。
ア：…うう‥ちょっと気持ち悪いです～…ぬるぬるしてうごうごして…
　　ちょっと気の毒ですが、仕方ありません。敵ですからね。
エ：仕方ない。…行って立花ハルカの服を溶かして。
ハ：えっ…な、何これっ…いっ…いやあああああ！す、スライム…？！
　　ふぁ…体に…纏わりついて…ひっ…なっ…今じゅって…え？服が…溶け…
　　え？え？や、やだ…何で…！いやあああああ！
エ：ほら…もう服が溶けてボロボロになってきた…
　　ブラもニーソックスもスカートも…徐々に溶かしていく。
ハ：嘘…嘘！いやっ！離してっ…くうう！触手で…動けな…ひぁっ…！どこ上って…
　　あっ…服…溶かさないでっ…！あ…胸…だめぇっ！ひぁっ…あああああ！
ア：あらあら、どんどんあられもない格好になっていきますねぇ♡
　　ぬるぬると体中をまさぐられて……ふふ…見ていると意外と興奮しますね♡
　　ぬるぬるでべとべとで…そそるじゃないですか～♡
エ：レオタードも溶かす。
ハ：ひっ…！そ、そこはだめ…溶かしちゃダメぇ！いやあああああ！
ア：あらあら～♡　レオタードが溶けて…おまんこが丸見えになってしまいましたね♡

ハ：いやああっ…やめ…やめてぇええっ！ふぐ…あ…はぁ…はぁ！うう…！いや…
見ないで…見ないでぇぇええっ！
ア：大人気アイドルのおまんこ御開帳♡　ふふ…すっごくえっちですよぉ♡
全身ぬるぬるで衣装はボロボロ…♡
ハ：はぁ…はぁ…！や！触手…やめ…腋…くちゅくちゅ…いやっ…！
ふぁああん！お尻…だめ…スカートの中‥入ってこないで…！
す、スライムも…いやあああ！溶けてく…溶けちゃううううう！ひっ…
エ：これで、性感帯は無防備。ここからは…スライムに性器を弄らせる。
ア：そんなこともできるんですか～♪
エ：できる。スライムは僕の意思通りに動く。見てて。
ハ：いやっ…やめ…！…え？な、なに…？スライムが…動きを変えて…
ひっ…！な、何?!胸に吸い付いて…あっ…くっ…何、何なの？！
ち、乳首を吸い上げてる…？う、うそ…や、やめっ…ひっ…！
あっ…くぅ…ふうう…やめてぇ…！

ア：　へぇえ♡　すごいです～♪　ふふ…♡
それにしてもハルカさん、気持ちよさそうですね～♪
悲鳴がさっきより上ずってますよ？ふふふ…
もしかして、スライムに乳首吸われて…気持ちよくなってるんですかぁ～？ふふふ♪
ハ：ちがっ…違うっ…そんなじゃ…あっ‥ひぁああっ！
ア：あらあら、何です？その甘い悲鳴は…？くすっ…
エ：体の他の部分も…感度を高めるように…蠢かせる。
ハ：あああっ…わ…腋…だめ…んっ…んんんんっ！ひっ…そんな…舐めるみたいに…
ふぁっ…ああん！あああ！お尻も…ひぁっ…！んっ…あ…いやあああ！
全身‥舐め回されてるみたい…いや…やめて…離して…くううう…！
ア：抵抗したら、わかってますよね～♪
ハ：はぅ…ううう…！くううう…や…ダメ…うっ…ひぁん♡

エ：感じる…立花ハルカの体温が上がってきた。体が、出来上がってきている。
ア：あらあらあらあら♡　アイドルがこ～んなに沢山の観客の前で、こんな破廉恥な
恰好のまま触手とスライムに性感帯を弄られて感じてるなんて…いけませんね～
ハルカさんって意外と変態さんなのでしょうか？クスクス♪
ハ：ち、ちが…そんなんじゃ…そんなんじゃなっ‥ああああああ！いやあああ！
す、吸い上げないで…ふぐううううう！はっ‥はぁん♡　んく…んくううう…！
ア：あれ～違うんですか～？その割に…おまんこからはお汁がたくさ～ん垂れている
みたいですけど？それは何なんですか？くすくす♪

ハ：ぅうっ…こ、これは違っ…はぁ‥はっ‥はぁ！これは違うのおおお…！
　　ふうう‥ふぁあ！やめてぇええぇ♡　はぁ…！うく‥いやあああ♡
　　はぁ‥はぁ！ああああ！え？触手が…レオタード…引っ張って…ひっ…
　　ううっ…はな…離してっ…ひっ…！
ア：あらあら、可愛いお尻の穴まで見えちゃってますよ♪
ハ：い、いやあああああ！そんなところ…見ないで…ひっ！何?!触手の先が…
　　お、お尻の穴の周り…すりすり撫でて‥・いやっ…ひっ…あっ…やめ…
　　んく‥くちゅくちゅ…やっ…いやっ…
エ：お尻の穴の入り口を触手に愛撫されて、おまんこがひくひく反応している。
ア：やだぁ♡　ハルカさんったら…お尻の入り口…反応しちゃうんですか～？
ハ：ちがっ…違うううううっ…そんなじゃ…ひっ…ぬるぬる…いやあぁ！
ア：そう言いながらおまんこからはとろとろ愛液を垂らして…ホントは期待してるんじゃ
　　ないんですか～？このままお尻の穴に…ずぷぷぷぷ…って触手が入ってくること…♡
ハ：い、嫌！そんなこと期待してない！そんな気持ち悪いこと、絶対イヤっ…！
　　離して…離してえええぇ！ひっ…や、やだ…触手が…お、お尻の穴に‥さきっぽ…
　　ひっ…あ…やめ…お尻に…入ろうとしないで…いや…いや…！やめてえええ…！
　　お、お尻…イヤ…いやあああああああっ！
　　ひっ…は、入って…あっ…やめ…やめて…いやあ…！んっ…ぐ…
　　はぁ…はぁっ！き、きもち…悪いっ…気持ち悪いいいっ…お尻…いやあああ…！
　　あ”っ…あ”ああっ…はぐっ…ひっ…

ア：あらあらぁ…アイドルが沢山のファンの前でアナルを触手にまさぐられるなんて…
　　うふふ…すごい光景ですね～♪
ハ：ひぐっ…や、やめ…やめてぇええ…お尻…いやあああ…！んく…ふぐうう…！

エ：いっ…！っ…
ア：エル?!どうしました?!
　　危険、察知。精神的な強い拒絶反応により、立花ハルカの意思とは無関係に、
　　フレアが漏れ始めた。
ア：それは困りますね。お尻をイジメるのは一旦中断しましょうか。
エ：了解。お尻から触手を抜く。
ハ：ぅあっっ…ぇふっ…あっ‥はっ…ふぁ…はぁああ‥あっ‥・んく…
ア：はぁい、ハルカさん、お望み通りお尻からは抜いてあげましたよ。
　　だから落ち着いてくださいね～？
　　エル、大丈夫ですか？
エ：問題ない。立花ハルカから漏れた光の力が少し触手を掠めた程度。

ア：それならよかったです…。無理しないでくださいね。
エ：大丈夫。ありがとう。
君も、そんな心配そうな顔をしなくても、平気。かすり傷程度。
ハ：っ…はっ‥は…　はぁ‥　はぁ…　ううう…
ア：くす…♪いきなりお尻は刺激が強すぎましたか～♪
そうですよね～すみません♪
では仕方ありませんからお尻は一旦やめて…もうおまんこを攻めてあげましょうか♪
エ：了解。彼が入れても問題ないか、スライムで確認する。
ハ：ひっ？！す、スライムが…私の‥私の股に…集まって…い、いや…何…何?!
ひっ…来ないで…やだ…なんでそんなとこに集まって…

ア：あら？スライムでおまんこいじくるんですか？
てっきりもう彼に入れてもらうのかと…
エ：立花ハルカの持つ力…フレアは光。熱。すごく、厄介。
お尻の穴を弄って生体反応を見た。まだフレアを十分に使用できる余力が残っている。
現在、仲間が人質になっているいう理由で彼女は力を使えないでいる。
但し、彼女の意思とは関係なく、さっきみたいにフレアが暴発する可能性がある。
だから、立花ハルカが無意識であってもフレアを使えない程度に
精神と体力を削り…感度を上げて不快感を無くし、暴発を防ぐ必要がある。
スライムなら僕の右手を変換した触手と違って、仮にダメージを受けても僕に影響が
ない。さらに、体の中を探ることによって、フレアが使える状態かどうかが判別可能。
立花ハルカがフレアを放出できないようになってから、彼のものを挿入するべき。
ア：確かにそうですね。万が一にも彼に危害が及ばないよう、そうしましょう。
エル、宜しくお願いします。
エ：わかった。
ハ：何で…　な、何？どうする…つもり…なの？イヤ…やだぁ…やだぁ！はぁ…はぁ…！
ああっ…やだっ…乳首‥や…！もう吸わないでっ‥ひっ…！あ！いやっ…
んく…くぅうん…！はぁ…はぁ…あふ…やだ…わ、私の股に…いっぱいスライム…
張り付いて…うう…いや…いやああ！ぅあ…ドロドロ…あ‥やだ…穴…
入ろうとしないで…その穴は…ダメっ‥私の‥私の大事なところっ…
そ、そんな…ひっ…う、うごうご…しないでぇええ‥！ひぁっ！
エ：見つけた…。遠隔でもわかる…肉に埋もれた小さな突起…クリトリス。
ハ：ひっ…！な、何?!やっ…あっ！ひっ…
ダメ…！そこ駄目っ…あっ！あ！ひぁっ！そこ…くにゅくにゅしちゃ…ひっ…
ふぁああああ…やっ‥・やだぁ！そこっやら…！やら…やだぁあああっ！
ふぁん！らめ…らめ…何か…変なの‥エルさんやめてっ‥やめてっ…あっ…

ア：あらあら、体が反りかえってますぅ♡　クリトリス…気持ちいいんですねぇ♡
ハ：あっ…ああああ！や、吸っちゃ…ら‥らめ‥！んく…ひっ…あ！あ！あ！らめ！
　らめっ…体‥・痺れて…ぁ‥力‥はいらなっ…やっ！あ！あ！だめ…何か‥くるっ…
　あ…あ‥あ！ふっ…ああああああああああんっ♡ふぁあああああ～！
　あっ‥・あっ…あああああ…　はぁ‥ぁ…　ぁあああ…　あっ…！

エ：痙攣、確認。絶頂した。
ア：あらあら～♪足をヒクヒクさせて口をだらしなく開けて…イっちゃったんですかぁ？
　うふふ‥よっぽど気持ちよかったんですねぇ♡　おまんこから愛液がとろとろと
　あふれ出てきて、太ももを伝ってますよぉ？
ハ：ああ…ああ…ちが…ひっ‥ひぁ…！
ア：敏感ですねぇ♡
ハ：ぁ‥・う‥
エ：再度、刺激する。
ハ：やああああああ！らめっ…らめぇえ！今‥そこ…だめ…！ひっ…いやあああああああ！

ア：あらあら、敏感なクリトリスを弄られるのは苦痛ですかね～？ふふ…
　大丈夫ですよ～♪それもまたすぐに快感に変わりますから♪
ハ：いやっ…イヤアアアア！こ、こんなの…らめっ…らめぇ！はぐっ‥！ふぐうううう！
　そこ…いやあああああ！くりくりくちゅくちゅ…ヤなのぉ…！あふうぅ！
　力…全部抜けちゃ…ひぁああああああん！や、またくりゅ‥くりゅうう！
　お腹…ﾑｽﾞﾑｽﾞして…ひっ…またさっきの…きちゃ…あっ…いや…いやぁああ！
ア：あら、またイっちゃうんですね♡　スライムにぬるぬる刺激されて…
　敏感になったクリトリス、連続イキしちゃうんですね♡　ほら、キメちゃってください。
　沢山のオーディエンスの前で、スライムクリイキ2連発♡ほらほら、ほ～ら♡
ハ：あっ‥らめ‥！ひっ‥イ…イク…！もう‥らめ…らめぇええ…！んぐっ…ひっ‥あ
　ひっ…あああああああ！い…やぁあああああああああっ…あっ♡　あふぅ…！
　は‥はぁ‥　はぁ‥　はぁ‥

エ：全身の脱力、確認。
　…君のおちんちん、大きくなってる。興奮、してる。
ア：うふふ♡　敗北した悪のヒロインが凌辱されるのを見て興奮するなんて‥ふふふ♡
　イケナイ人ですね♡
　最高に素敵、ですよ♡　かっこいいです♡　やっぱり HERO はそうでなくては♡
　これならバッチリ、ハルカさんのおまんこの中に挿入できそうですね♡
ハ：やっ…あぁぁあ…　はぁ…　ふぁあ…　ああぁあ…も、もう…もう…やめて…っ…！

エ：まだ、フレアを使えるだけの力が残っている。やめるわけにはいかない。
ア：あら、やっぱりリーダーだけあって力も強いですね～♪
ではもう少し力を削がせて頂きますね♪
ハ：ひっ…も、もうこれ以上はっ…やっ…やめてっ‥はぁ‥はぁ…！
エ：クリトリスと乳首の刺激だけでは体力も精神力も削り切れなそう。
中に、入れる。お尻でなければ拒絶反応も薄いと思う。
ア：ＯＫです～♪じゃ、おまんこに入れちゃってください～♪
エ：了解。
ハ：…え？え？な…何‥なんでスライムが…集まって…触手みたいな形に…ひっ…
何これ…なにこれっ…！や…やだ…なんでこんな形に…い、いやああ！
エ：スライムを膣内に挿入しやすいよう、触手型に変更した。
ア：これはまた…えっぐい形ですね～♪じゃ、入れちゃいましょう♡
ハ：ひっ…や、やめ…やだ…！入らないっ…！そんな太いの入らないからっ…やめてぇ！
エ：問題ない。スライムだから、形も硬さも自由自在。
ハ：い…いやあああ！やめ…ひっ…さきっぽ…穴に…あたって…やっ…やだぁ…！
ぴとぴとって…き、気持ち悪いいいい！うっ…ぁ…！や、やめて‥やめてえええ！
エ：やめない。挿入。
ハ：ひっ…あっ…あ”…あ”ぁぁあああああっ！やっ…ひぁあああああああ！
ぁうっ‥ぐっ…や、やらあああ…あっあああああ！ぬちゅぬちゅ…や…入って…
ひっ…中…かきまわして…ひぐっ‥いやああああっ！

ア：すっごい音がしてますねぇ…やっらしー音です♪
自称正義のヒロインが観客の前で立てていい音じゃありませんね～♪
エ：見て…触手で身動きを封じられてスライムで犯される、立花ハルカ…
興奮、する？
ア：聞くまでもありませんよね？自称正義のヒロインがこうして犯されてる姿を見て…
ここ…おちんちん、もうすっかり勃起しちゃってます～♪ふふふ♪
エ：おちんちん、苦しそう。出してあげる。
ア：まぁ♡　すっごく立派なおちんちんです～♪ほら、握ってあげますね～♪
エ：僕はタマタマを触る。よしよし…よしよし…。ずっしりしてる。
洗脳精子、沢山。これを中出しすれば、絶対に洗脳できる。
ア：ホントですね♪もう苦しくないか心配なくらいたまたまパンパンですね～♪
ほら…スライムにおまんこ弄られて感じまくっているハルカさんを見ながら…
もう少しおちんちんおっきくしましょうね～♪ふふ…しこしこ…しこしこ♡
エ：僕の汗と唾液で作ったスライムに…おまんこを犯される自称正義のヒロイン…
僕達の邪魔をする、悪いヒロイン…君のおちんちんで、犯して欲しい。

ア：あは♡　我慢汁が沢山さきっぽから溢れてきましたよ♡　イイ感じです〜♪
エ：たまたまも、刺激、してあげる。すりすり…すりすり…もみもみ…もみもみ…
ア：うふふ〜♪お顔、蕩けてますよ♪ほら、見て下さい…ハルカさんのあの顔…
　　嫌がってますけど…どんどん蕩けた顔になってきてますよね…♡
　　顔も赤く上気してきて…興奮がどんどん高まってます♪
　　ぜーったい、気持ちいいんですよ♪ほら、足をびくびくさせて沢山感じてます〜♪
エ：膣の中、びくびく蠢いている。君のおちんちんを入れたらきっと、君の精液を
　　搾り取ろうとするみたいにぎゅううって締め付けてくる。絶対、気持ちいい。
ア：ほら、想像しながら気持ちを高めましょう〜♪しこしこしててあげますから〜♪
　　うふふ♪しこしこしこしこ〜♪しこしこしこしこ〜♪
エ：もみもみもみもみ…さわさわさわさわ…。立花ハルカ、処女だった。
　　処女膜がある。でもあえて残してる。これは、君が破るといい。
ア：スライムは便利ですね〜♪
エ：便利。
ア：ハルカさん、何度もアクメしてますね♪
　　触手でつるされて、スライムに犯されて…♡
　　うふふ…催眠で意識が朦朧としているとはいえ…ファンが見ているのに…
　　これ、私が催眠を解いてしまったらどうなるんでしょ〜？うふふ…♡

エ：…立花ハルカのフレアの気配が消えてきた。
　　何度もオーガズムを感じて体力も精神もかなり削れた。
　　そろそろおちんちん、挿入できそう。
ア：あら、もうですか？ふふ…処女には未知の快感過ぎてかなりこたえたみたいですね♪
エ：最後に、大きくイカせる。それで、完全に力を奪える。
ア：わかりました〜♪ふふふ…ハルカさんが大きくイクところ、
　　しっかり目に焼き付けましょうね〜♪ふふ…しこしこしこしこ、しこしこしこしこ♪
エ：じゃあ…ラストスパート。

ハ：ひっ…！やっ…やだ…！ぐちょぐちょかき回すの…あっ‥やだ！！もうこれ以上…
　　や、め…やめ‥ひっ‥ひぐっ…あ”…らめっ…！そんな奥…！子宮の…入口ぃっ
　　やめ‥やめてよおおお！ひぁっ！あああああ！ぐちゅぐちゅ…いやあああああ！
　　もう‥もうやめ‥おかしくなりゅ…！頭おかしくなるうううううう！ひぁっ！
　　もう無理‥無理だよ‥ひっ！あっ！さっきの‥クリトリス‥までぇ！
　　ああああ！一緒に刺激‥らめ‥あ‥乳首も吸うの‥もうむりいいい！
　　腋もお尻も‥全部一緒に刺激‥やらあああああ！あっはああああ！
　　むりむりむりむり！らめえええええ！あ”！またいぐっ‥またイグううううう！

やら…やめて‥！こんなトコでこれ以上…イカせないでっ…あっ…
あ！お腹熱いっ…奥からくりゅ…！ああああ！や、奥からじわあああってくりゅっ！
あ、や、何っ！今クリトリス吸い上げるの…らめっ‥ひぁ！あ‥やらっ‥なに・・
お、おしっこの感覚‥が‥きちゃ‥え？や、なにこれ‥いや‥むり‥むり…
おしっこでちゃううううう！やめて‥吸わないで…クリ‥すわないれ‥っ！
あぅ！お腹ごりごり‥らめええええ！きちゃううううう！中も外も攻めるのらめえ！
あ‥イグイグイグイグ！全部イグ！おっぱいも中も全部いく！おしっこ出ちゃううう!
全部いぐううううううう！ふぁっ‥ふぁあああああああああ！ああああああ”！
あ”っ…ああああ‥ふぁ‥ああん‥あっ‥ああああああ‥や‥おしっこ‥あ‥
こんな‥うそ‥皆の前で…ファンの‥みんなの‥ひっ‥あっ…

ア：あらあらあら～♪随分おっきくイキましたね～♪うふふ…ぴゅうううって飛び出した
あれはおしっこですか？エル♡
エ：正確には潮と呼ばれるモノ。でも、体感は完全に同じだと思う。
放尿したと思わせておいた方が、精神的なダメージが与えられる。
あえて、訂正する必要もない。
ハ：はぁ…はぁ‥　うう‥　ううう…　わ、私…こんな…　あああ…ふぅ…ふぐぅ…
ア：それもそうですね♪うふふ♪
じゃ、そろそろ貴方の出番ですよ♪
もう今の彼女にフレアは使えません♪
存分にこの…大きくなったおちんちんでハルカさんを犯してあげて下さい♪
エ：フレアの素になる力が立花ハルカの体の中で完全に消失した。
今なら中に挿入しても問題ない。
ア：ＯＫです♪それじゃあ、貴方の出番です♪頑張って下さいね♪
いーっぱい洗脳精子、彼女の中に出してあげて下さい♪
エ：頑張って。僕達はここから見てる。君のカッコイイ姿。応援、してる。

７，自称正義のヒロインに制裁！ファンの前で中出しセックス！

ハ：はぁ…はぁ…や…やめ…こな…こない、で…はぁ…はぁ…きちゃらめぇ…
　　はぁ…　はぁ‥
　　ね‥め、目を…覚まして…ね？こんなの‥おかしいよ…
　　貴方が味方してる組織は…悪の組織なんだよ？
　　この世界をおかしくしようとしている、悪い人たちなんだよ…？
　　お願い‥・気づいて、目を覚まして…！
ア：あらあら、何を言ってるんですか？悪の組織は貴女方でしょう？
　　この世界の未来を滅亡へと導くわる～い人たちが何ってるんです？
エ：正義は、僕達。
ハ：そんなっ…！おかしいよっ…！
　　皆の理性を壊して、無理やりエッチなことをさせるなんて！
ア：でもそうしなければ、このままではいずれ人類は滅亡します～。
　　ハルカさんは、自分たちが今生きていればそれでいいんですかぁ？
　　それは自己中って言うんですよ？
ハ：そ…そんな…！そういうわけじゃ…
エ：自分達だけが幸せであればいいというのは、傲慢。
ハ：そ、そんなこと…違う…！私達は…　大体、このままだと人類が滅亡するなんて
　　そんなでたらめ…　ふぁっ…！あ！やっ…やめっ！
ア：でたらめも何も、社会で既に問題になっているじゃありませんか。
　　少子化。これはセックスをすることを怠ったために起こっている事象です～。
　　ExtAid の計算では、あと数百年後には人類が滅亡するそうです。
　　ま、自分たちが楽しく生きていければその先に困る人がいても気にしない
　　今の政府や貴女方に何を言っても仕方ないかもしれませんが…
　　世界の未来を慮るなら、必要なことではありませんか？
　　貴女方も政府も、視野が狭いのですよ～♪
　　ま、ご理解頂けなくても結構です～。どうせ分かり合えるとは思っていませんから♪
ハ：そ…そんな…そんなこと…！あっ…セックスは…大切な人との未来を育むために、
　　自分たちの意思ですることで…！ひぁっ！強制的になんて、やっぱり間違ってる！
　　んっ…ふうう…いやあああああ！
ア：もう黙ってくださ～い♪　話し合う気はありませんので♪
　　お互いの価値観がぶつかった時は、戦って勝利した方が正義なのです♪
　　どちらが正しいかなんて、今話し合っても埒があきませんので、私達は私達の
　　正しいと思う正義を貫くまでです♪
　　では、HERO さん、世界の…そして人類の未来のために、やっちゃってくださ～い♪

ハ：やっ…やめ…やめてっ…ひっ！や…ち、近づかないでっ・・・いや…いやぁあああ！
エ：暴れないで。
ハ：ひっ…！あ”っ・・あっ…！やめ…やめ…あっ…あっ…知らない男の人のおちんちんが…
私の…私の大事なところにっ…ひっ…いやあああ！やめて…お願い…イヤ…！
ア：そんなこと言って・・本当は欲しいんじゃないんですか？
ほら、そんなに腰をくねくねさせて…涎を垂らして♪
ハ：ち、違うっ…違うよ…！そんなじゃ…いや、やめて！お股におちんちん擦り付けないで!
ぬ…ぬるぬる…穴の周りを・・ひっ…や…！そんな…焦らすみたいに…さきっぽ…ひっ
ア：あらあら～♪じれったいのですか～？早く入れて欲しいんです？
ハ：ちが…違うっ…違うけど…ううっ！なんで…なんで体がこんな・・びくびくして…
ふううううぅぅっ…疼くの…いやっ…！体…変っ…こんなの…私の体じゃ・・ひぁっ！
そこ…さっきスライムにいっぱい吸われて…ダメなとこ…！おちんちんでくにくに…
やめてえええぇぇえ！
エ：クリトリスへの刺激に随分敏感になってる。
ア：うふふ♡　おちんちんの先っぽの亀さんでクリを刺激されて…
イキそうになってるんですか～？
口ではイヤだと言いながら、随分な淫乱さんですね～♪
ハ：そ、そんなじゃ…ちがっ…ひっ…あ、らめ…！くちゅくちゅやらしい音…立てるの…
ため…！あ、皮が…剥け…ひっ…！
エ：クリトリスの皮が剥けて、敏感なところが彼のおちんちんとキスしてる。
立花ハルカの膣内の収縮を確認。イク、寸前。
ハ：やっ…あっ！お、おちんちん…男の人のおちんちんがっ…私の…私のっ…
うっ…ううう…やら…やだぁ…！おちんちんで敏感なところ…刺激…ひっ…
あっ…らめ…また…お腹にあの感覚が…じんじんくる…！らめ…らめなのにぃ…
知らない男の人のおちんちんに刺激されて…こんな・・人前で…ファンの前で…
ひっ・・あっ…らめ！イク…イクイクイク…いっちゃうっ…やっ…あっ！
ひぁっ…！ああああんっ…ふあっ…ふあぁぁあああんっ♡
あふっ…あっ・・・あああ―――っ…あっ…あっ…あっく…あふ・・あっ…あっ♡
ア：あらあら～♡　随分大きくイキましたね～♡
おちんちんのさきっぽでクリトリス刺激されるの、そんなに良かったんですか～？
PlatonicAngels のリーダー、立花ハルカさん♪
もう淫乱エンジェルに名前を変更してみては？
ハ：はぁっ…はぁっ…！ううううう…うっく…やぁあ…はぁ・・はぁ…も…やめ・・
エ：絶頂を確認した。感度がかなり上がっている。そろそろ、挿入するといい。
随分濡れているから必要ないとは思うけど、念のためにスライムも潤滑剤にして。

ア：うふふ♡　今こ～んなに感度があがってる状態のおまんこにこの人の大きくて立派な
　　おちんちんを入れると…どうなっちゃうんでしょうね♡
ハ：う…あ…やめ…やめて…中に…いれちゃ…うっ…の…ダメぇ…！ふぁ…ひぁああぁ！
　　う”…ん…やっ…ダメって…言ってるのに…ひっ‥あっ…無理やり…そんなぁ！
　　は、入って…くるうぅ…！やっ…やあああ！入れちゃやっ…ヤダ…！はぅ…あああ！
　　ひ…お、お股…さけ…さけちゃうう…おっきいいい‥いやあああぁ！
エ：スライム触手よりも太くて熱い肉棒、本物の男性のおちんちんは、格別のハズ。
ア：あああ～♪すっごくえっちですぅ♡イヤらしい音…ハルカさん、足をピーンと伸ばして
　　口では拒みながらもしっかり受け入れ態勢とっちゃってるじゃないですかぁ♡
ハ：ち‥ちが…はっ‥はぅ…ああ…はいってきちゃ…う…あっ…らめ‥らめぇ…！
エ：立花ハルカの処女膜、君が破って。
ハ：あっ…や…私の…初めて…ぁっ…こんなっ…ひっ…！ああああああ！
　　うぐっ…奥まできちゃう…きちゃう‥らめ‥らめ…ふぁ…らっめえぇえぇえええ！
　　あ”～～～～っ…かはっ…はっ…はっ…ああぁ…あっ…ああ…ああああああぁ…はぁ…
　　はぁ‥　はぁ…　はぁ‥　はぁ…！
ア：すっごいえっちですぅ…処女喪失の瞬間♪
　　初めては痛いって聞きますけど…どうなんでしょー？
エ：痛みは殆ど感じていないはず。それくらい、感度を上げた。
ハ：ぁっ…ああああ…あっ…いや…やぁああ‥…わ、私の中に…知らない男の人の…
　　おちん‥おちんちんが…あっ‥あっ…しかも…こんな沢山の…ファンの前で…
　　うううぅっ…ひっ…ひぁあ…！や、う、動かない…でっ！ひっ‥んっ！
　　あああ！やめ…やめてえぇえぇ！あふっ…あっあぁあぁあ！

ア：あらあら…イヤイヤと言いながら、
　　結局は気持ちよさそうな喘ぎ声を上げてるじゃないですか♪
　　うふふ…あの方のおちんちん…やっぱりすごく気持ちいいのですね～♪
　　私達も全てが完了したら彼にご褒美としてセックスをプレゼントする予定ですが…
エ：とても、楽しみ。
ア：何だか、彼へのご褒美なのに私達のご褒美になりそうな予感がします～
エ：とても、よくわかる。
ア：はぁあ…ハルカさん、気持ちよさそうです…♡　あんなに乱れて…
　　普段の気丈なハルカさんからは想像できない姿ですね～♪
　　色っぽい体のくねらせに、甘い声…女性ってエッチでこんなに変わるものですか～♪
エ：僕達も、彼とするときは…あんな風になるの？姉さん。
ア：どうなんでしょ～♪すごく楽しみですね～♪

ハ：あっ…パンパン‥・いやっ…速くしちゃ…あっ！ああああっ！
胸…やだ…スライムで勃ってる乳首…ぎゅううって摘まみながら…おちんちん
出し入れするの‥・らめええええっ‥あっ‥・イク…いくううう！
ひっ…あっ‥あああああああ！あっ‥・あああ…やだ‥・私…中で…イ‥・
いっちゃった…や…あっ…ふぁああ…　はぁ…はぁ‥　はぁ‥　はぁああ…
おちんちん…やめ…ぬいてえぇ…　あっ…　ああああ！ダメ…続けないでっ…
ぬいてえええ！今…中…らめっ…動いちゃいやあああ！　あっ！あ”！あ”あああ！

ア：あらあら～♪乳首を弄られながらおまんこされて、自称正義のアイドルがアクメ
しちゃいましたよ～♪　しかも敵だと認識している男性に…♪
うふふ…カッコ悪いですね～♪　おまんこ、すっごくちょろいです～♪
やっぱりチーム名はおまんこエンジェルズか淫乱エンジェルズにしましょうよ～♪
エ：処女喪失で中イキ…すごく、淫乱。

ア：ふふ…イったばかりのおまんこ、ぱちゅぱちゅされて、またイキそうですよ♪
声が上ずってきてます～♪　あああ‥すごくエッチですね～♪
全身をスライムで服を溶かされ…とろとろにされた上、触手で縛られ…
体をぬるぬると触られながら喘ぐハルカさん…♡
エ：彼も、たまらないみたい。すごく気持ちよさそうに腰、振ってる。
ア：これが…国民的アイドル…♡　知らない男性…しかも敵だとわかっている男性からの
おちんちん攻撃で子宮を刺激されてよがるアイドル…こんな人たちに、やっぱり
この世界は救えませんね♡
エ：僕も、そう思う。
ハ：うあああっ…なんで…なんでおちんちん…中でどんどん大きくなってくるのおお…！
もう無理だよぉ…！お腹…ぱんぱん…ふぐっ…初めてなのに…こんな激しいのっ…
ひぅっ…なんで‥なんでこんな…きもちく感じちゃうの…嫌なのに…いやあああ…

エ：そろそろ、彼が、イキそう。腰の動きが、また速くなった。
ア：うふふ♪好きな女性じゃなくても、これは興奮しますよね～♪
だって…誘うようにくねくね動きながらずぅっと自分の中に出たり入ったりする
おちんちん眺めて喘いでるんですよぉ？…うふふ♡
何だかんだで女性は男性の悦ばせ方を本能的に知ってますよね～♪
エ：生殖行動は、本能。自分が危機にさらされればさらされるほど、生殖本能は刺激され
感度も上がり、興奮する。これが、人間の本来の姿。
ア：そう、これでいいんです♡これが世界の未来を作っていく人間の尊い姿なんですから♡

ハ：あっ…あああ！だめ…子宮…揺らさないでぇえええ！あああ！触手が…触手が
この人のおちんちんが一番奥に来るように‥ぁうっ…勝手に…角度変えて…
ひっ…ああああ！らめ‥そ、そこ…らめ‥あふっ‥あっ‥らめな…とこ‥
そこらめ…奥…ひっ…奥のらめなとこ‥いやああ…はぁあん…！あっあっ…
なんれ…力‥抜けて‥はふ…んく‥あっ…そこ…ぱんぱん…らめ…らめええ…！
んきゅ…奥から…じんじんくるっ…お、おっきいの・・・　くりゅ…おっきいの…
や…らめ…らめ…はっ…はっ‥頭…おかしく‥なる‥あ…真っ白に…なっちゃ…
え？イクって…貴方が…？らめ…イクって‥中に出すってこと…？！
そ、それだけは‥やめ‥やめてぇ…あふっ…ふぁああん♡
ア：うふふ～♪もう限界ですね♡いいですよ～♪
さぁ、ハルカさんの中に…たっぷりと洗脳精子…出させて頂きましょう♪
エ：気持ちよく、吐精して。
立花ハルカの絶頂でおちんちん、イって。
あっ…や…大きいのくるううう…あ、奥から…きちゃ…はっ‥はっはっ…
やめ…やめ…！あっ…あ…イク…イクイクイク…イっちゃう…
イっちゃダメなのに‥イったら…負けなのにぃいい…はぁ‥はぁ‥・！
イったらおちんちん…締め付けて出させちゃうから‥だめ‥ダメだよ…
我慢…我慢だよぉ…あああ‥・我慢しなきゃって…思ってるのに‥・ひっく…
我慢って思えば思うほど…はぁ‥・はぁ…奥から‥じわじわくるのおおお…
あああ…負けちゃダメ…負けちゃだめぇぇえ‥イ…イクの我慢…我慢んんんっ！
ふぁ！あああ！やめ！激しくしないで！こんなの‥耐えられなっ‥
ああああ！皆のために‥我慢しなきゃだめなのにっ…正義のヒロインなのに…
皆を守るためのアイドルなのに…はぁ‥・はあああ…負けちゃう…負けちゃうっ
おちんちんに負けちゃうっ…！洗脳精子中出しされちゃううううっ‥あああ！らめ！
一番深いのくるうううう…くるくる…きちゃう…もうらめ…ごめん…皆…
情けないリーダーで…ごめ…なさ…はっ‥・はぅ…もう…我慢…できな…
深いの…きちゃ…きちゃうの…皆…ごめっ…ごめんなさっ…あっ…あっ…あっ…
い‥イクイク…イク…イクイクイク！ふっ…ふあ…ふああああああっ…
あっ‥はっ…ふぁ…あああああああああっ…！締め付けちゃ…らめえええ！
はぐっ…はぅうう…ふぁあああああん♡　や、イカないでイカないで！
中に射精しちゃ…やぁあああっ！ひっ…ふぁあああんっ…！やっ‥ああああ!
中に‥き、きちゃった…ぁっ…せい…液…あぐっ‥あふぅ…うっ…うううう…
熱い‥・熱いの…お腹に全部…じゅわぁああって…ひっ…あっ…洗脳…されちゃう‥
やっ…ああああああ…あああ…あああっ…はぁ‥あ‥・はぁ‥　はぁ‥　はぁ‥

ア：すっごいです〜…おっぱいぶるぶる揺らして足をビクビクさせながらの子宮アクメ…♡
全身を痙攣させて…すごくエッチです〜♪
エ：中出し、成功。入りきらなかった精液が、とろとろと垂れてきている。
ア：うふふ…♡　ぽたぽたとステージに垂れる精液…何だか少し幻想的にも感じますね♪
エ：お疲れ様。もう、抜いて大丈夫。
ハ：ぁあっ…はあぁぁんっ…ふぁっ…あっ‥・あっ…あああ…
中から…白い…精液が…とろとろ垂れて…うう…はぁ‥はぁ…
ううう…知らない男の人の…精液…　うっ…はぁ…　はぁ…
私…犯されちゃった…　はぁ‥はぁ…　洗脳‥　されちゃうの…？　はぁ…はぁ…
エ：その精子が定着すれば、洗脳完了。
ハ：うっ…。何この変な感じ…頭が…ぼーっとしてくる…　これが…洗脳…？
ダメ…ダメ…洗脳なんてされちゃ…　うう…私は…私は…負けちゃダメ…なの…！
ア：お疲れ様です〜♪すっごくカッコ良かったですよ〜♪
見ててほれぼれしちゃいました〜♪　最初は嫌がってたハルカさんも、どんどん
蕩けて…最後は奥ですっごく感じちゃってましたね♪
さすがは HERO さんです♪
エ：姉さん…。通常ならこのままでも少し時間が経てば問題なく洗脳できる。
…ただ、立花ハルカの力は未知数。今もまだ洗脳にかかり切っていないように見える。
洗脳精子の定着が、遅い気がする…。フレアの回復も早そう。
念のため、完全に定着するまで
ア：そうですね、そうしましょう♪ハルカさんは…やっぱりちょっと怖いですから。
エ：了解。触手で体に馴染ませる。
ハ：はぁ…はぁ…え…？なっ…触手が…足を持ち上げて‥・えっ…何で…また…こんな！
エ：洗脳精子を膣内に入れたままオーガズムを何度も迎えさせることが
洗脳精子定着のためには最も効果的。
ア：そうですね。じゃあ大きく深イキした後で申し訳ないですけど〜、エルの触手で
後何回かイっちゃいましょうか♪
ハ：そ…そんなっ…ひっ…！
エ：了解。では、触手を膣内に挿入する。
ハ：いや…いやあぁっ…いやあああああ！
ア：うふふ…♡　ではハルカさんの体に洗脳精子が定着するまでの間…
私があなたのおちんちん、お掃除フェラしてあげます♪
ハルカさんの中で貴方の精子が定着するまでを楽しみながら、おちんちんを
綺麗にしましょうね〜♪
ではおちんちん、失礼しますね。
は〜む…んっ…ちゅる…れろ…

ハ：嘘…嘘…中…かき回されて…ひっ‥あ、ダメ…奥‥くちゅくちゅ‥いやああっ…
ああぁ…そんな…子宮に吸い付くみたいな…触手が…奥まで…ひぅっ
あああああ！イキすぎてつらいっ…辛いのおおお…
らめ…ああああ！洗脳精子が子宮の中にきちゃううう
頭おかしくなるっ…！洗脳されちゃう！ダメ…耐えなきゃだめなのにいいい！
もう…もう無理…もう無理だよおおおお…ああああ！イっくぅ…！
ふへぇ‥あふっ…も、らめぇ…体びくびくとまらないいいい…あああああ
あっ…あっ…中が‥あちゅいいいい…触手がぬちょぬちょ…もおらめぇえええ…
ぁっ…ああああ！そこ‥しょこ…りゃめえうえええ…はふ…はふううあああ…
また…おっきいいのくるうう…イきすぎてもう何もわかんないいい…はぁはぁ…
きもち‥いいのしか‥わかんないのらめぇええ…！んぁっ…らめ…
またおしっこでる‥でる…でちゃうううう…はう…あっ‥・あっ…みんな…ごめん…
わたし‥もう‥らめ…あふ…敵に犯されて…洗脳されちゃう…はふ…あっ…
あっ‥もうらめ…らめ…イク…イク…いっちゃうよおおおお…ふぁっ…
でも…でも…最後まで‥諦めちゃ…だ…ダメ‥あっ‥でもイク…イクのとまらなっ…
ふああああああぁああんっ…あああ…あああぁ～…あっ…あっ‥・あああ
ア：ちゅぽん♡　あらあら♡　また大きくイキましたね～♪潮吹きまでしちゃって…ふふ♪
ついにぐったりしちゃいました～♪
エ：複数回の痙攣・中イキを確認。洗脳精子が完全に定着したと思われる。
ア：うふふ…♡　それはよかったです～♪　はい、おちんちんも綺麗になりましたよ♡
でも…おちんちん、おっきくなっちゃいましたね？
お掃除フェラのハズだったのですが…ふふ。大好きな私にフェラされて、
ドキドキしちゃったんですか～？　ふふふ、可愛いですね♪
じゃあその元気になってしまったおちんちんは…
洗脳済みのハルカさんに静めてもらいましょうか♪

８、立花ハルカ性奴隷化完了～バックでおねだり両穴責め～

ア：ハルカさーん？私の声…聞こえますか？
ハ：うっ…うう…　はぁ…　はぁ…はぁ…
ア：あらあら、随分お疲れですね♪
　　ま、あれだけ連続でイったら、仕方ありませんか～
エ：命令してみて。おちんちん入れて欲しいと懇願しろ…と。
　　これで、洗脳できてるかどうかがわかる。

ハ：はぁ…はぁ…うっ…え？おちんちんを入れて欲しいってお願いするの…？
　　はぁ‥　はぁ…　は、はい…　え、えっと…お、おち…おちんちんを、私の中に
　　入れて…入れて下さ…え？や、私…何言って…あれ？え…？
　　うっ…はぁ…はぁ…

ア：…嘘でしょ？まだ意識が残っているんですか…？
エ：洗脳精子は間違いなく定着している。もう彼女の意識はほぼ消えかけている。
　　それでも、彼女の諦めない心が、完全に意識が洗脳されることを拒否して、
　　彼女の精神洗脳に通常よりも時間がかかっている。
ア：どうします…？
エ：問題ない。完全洗脳は時間の問題。
　　不安なら、ダメ押しでもう一度、精子を注ぎ込んで無理やり定着させる。
ア：そうですね。念のため、もう一度中出ししてもらいましょう。
　　…お願い、できますか？…ってあら？　ふふふ♪
　　…おちんちんでお返事しないでくださいよ～♪ふふ♪
　　ハルカさんの中…そんなに気持ちよかったんですか？
　　また入れられると思うと…そーんなに固くなっちゃうんですね♡
エ：頼もしい。それじゃあ、もう一度挿入して。
　　今度は、後ろからでどう？
ア：バックですか～いいですね♪支配するって感じで♪

ハ：え？きゃっ…な、何?!触手が…ひぁっ！あ…な、何するの…ひぁっ！
　　ああっ…そ、そんな…お尻を突き出すみたいな…はぁん♡　はぁ…はぁ…
　　こんなエッチな恰好…や…♡　はぁ‥・はぁ…　あぅ…ん…
　　え？腰…掴まれ…ぁうっ…も、もしかして…また中に…おちんちん…
　　ひっ♡　あっ…やっぱり…い、入れられちゃうんだ…♡　はっ…はぁ…

ア：あらあら～？何だか嬉しそうですね～ハルカさん♪
ハ：ちが…違うっ…♡　違うのぉ♡　はぁ‥・はぁ…
　　ダメ…♡　こんなの…やだ…♡　私‥…はぁ‥はぁ‥いやぁ…♡
　　おちんちん…おまんこの入り口にぴとって…♡　はぁ‥はぁ‥♡　感じちゃう…
　　ああ…ずぶって…入れられちゃう♡…はぁ…　はぁ♡　らめぇ♡　あん♡
ア：否定がどんどん弱くなってきますね～♡
　　ふふ…もう諦めて早く洗脳されちゃってください。
　　その方がきっと気持ちよくなれますよ～？

ハ：あっ…あっ…ずぶって…ずぶって入ってきたぁ…♡　あっ‥ああああ！
　　後ろから…しゅごい…♡　ひぅっ…後ろから…おちんちん…くるうううううっ…
　　あ”あああぁっ…ふぁあああああああん♡

ア：あらら、後ろから入れられただけでイっちゃったんですかぁ？クスクス♪
　　本当に淫乱なアイドルですね♪
ハ：ちがっ…う‥のぉ…淫乱なんかじゃっ…♡　あふっ‥あ！お腹…くるし♡
　　あん！ああ！触手でつるされて…バックで突かれるのっ‥あっ‥らめっ♡
　　ああ‥なん…なんれ…こんな‥きもち‥の♡　あっ‥らめなのに…らめなのにっ…
　　あふぅ♡　後ろから子宮コンコンされるの…何でこんなにきもち…い‥のっ♡
　　あん♡　あん♡　あん♡　あん♡　はふっ‥あっ…ああああ‥・！あ…おちんちん…
　　しゅごい…しゅごいいい‥あっあっ…ずぽずぽ…私の処女だったおまんこ…
　　おちんちんで突かれてりゅ…♡　あっ…あっ♡　きもち…い‥っらめ♡はぁ‥はぁ…
　　ああ…ファンの皆の前で…こんなっ♡　あっ‥私…らめ…♡　はぅ♡　あっ‥
　　どんどん気持ちよくなってぇ…体敏感になってっ…はぁ‥はぁ‥抗えないいぃ…♡
　　お、おちんちん‥きもち‥い‥の‥♡腰掴んでぱんぱんされるの…しゅごいの…♡
　　刺激が頭にまで響いて…脳みそ揺さぶられるのおおお♡　ふぁっ‥ああん♡
　　ああ！ああ！ああ！こんなはずじゃ…なかったのにぃ♡　はぁ‥はぁ‥
　　どうしてこんな…中にもっと精子欲しくなるのぉおお♡　んふぅ♡はふ‥はぁん♡
　　私…私…こんなエッチじゃ‥なかったのにぃ♡　あっ‥はん‥はぁん♡
エ：中の精液も、今新たに出ている彼の我慢汁も、全てが立花ハルカの精神を蝕んでいる。
　　もう、抗えない。

ア：うふふ…ハルカさんすごく気持ちよさそう…♡
　　こんな大衆の前なのに、アイドルが男性に挿入されながらあんな蕩けた顔を晒して…
　　これはもう、アイドル失格ですね～♡　うふふ♡

ハ：ああああっ！おぐ…おぐしゅごいのおおぉ♡　あっ‥ぉっ♡　おっ‥♡　おぐ‥！
あ‥それ‥ぞれぇぇえっ…！あぐっ‥あ‥ん‥んぐ…ぉっ‥ぉぐっ…はっ‥あ！
ぎ…もち‥ぎもちー‥の…！あ！ん！しゅごっ‥ぁっ！子宮‥揺れるううう‥・！
あっ‥あっ！ぉ‥おっ！おぐっ…しゅご‥しゅごいいいい♡　あっ‥らめ‥
らめなのに‥ぉっ！ぉ"！かんじ…ちゃうっ‥ふぁ！ふぁん！
エ：そろそろ力の残量が気になる。
ア：私もですね…どうします？
エ：行為の濃度を上げて、洗脳スピードを早める。見ていて。
今ならもう…抵抗も拒否も出来ないハズ。
ハ：え？何？ひっ‥な‥・なに‥お、お尻の穴に‥ひぁっ！しょ、触手…！
やっ…そ、そっちは‥ら、らめっ！らめぇえええ！し、しかも‥こんな‥
おちんちんが入ってる状態で…なんて‥やっ‥あっ‥触手が…お尻の穴…を
つついて…ひっ…あっ…さきっぽ‥入って‥んくっ…！
あっ‥や‥スライムがぁああ…！ぬるぬる…させて‥触手を‥入れちゃうのだめ…
お尻に触手入れるのらめっ…ひぁっ！おちんちん‥入って‥突かれてるのに…！
両方なんて…無理‥むりいいい‥ひっ‥あ"‥！あああああああっ‥ふぁああああああ？！
ぐっ‥ぉ‥ひっ…ぉおお‥ぅあ…あ‥・広がるぅ‥お尻の穴‥ひろがっちゃ‥ぁっ…
な、なにごれぇ‥！何これぇ…！ぐっ‥・ぁ‥お尻もお腹も‥くるし…
パンパンで‥きつい‥のに‥うううう‥お尻なんて…さっきすごく‥嫌だったのに…
な、なんで…なんでこんな‥気持ちよく感じちゃうのおおおおぉぉ‥
やだ‥やだよぉ…！はっ…あ"‥・ああああ…！いぐううううう！んぁああああああ♡
ア：あらあら～ホントに感度が上がって…お尻も感じちゃうようになっちゃったんですね♡
すっごくエッチです♡　ほら、も～っとハルカさんを気持ちよくしてあげて下さい～♡
ハ：あああ…おちんちん‥容赦ないのっ…！お尻の穴‥きついのに…容赦ない…！
子宮どすどすついてくるの…！あっ‥・あっ…きつい…おなか…くるし‥
あん‥やだ‥やだ♡　はぁ‥はぁ‥両穴キモチイの…おかしいよおお…！
頭バカになる‥！気持ちよすぎてバカになるううううぅっ！あああ！
もう何もかんがえられにゃ…い‥ふぁ‥やら‥やらぁ♡　んく‥くうん♡
おちんちん‥・もっと…もっと欲しい…の‥おかしい…♡
中にいっぱい出して欲しいの‥おかしいよぉ‥♡ふぁん♡　くぅ‥ぁ‥あん！
ああああ…触手がお尻の穴くにくに弄るのが‥なんれ…なんれこんなイイのぉ‥
私…こんな変態じゃないのにぃい‥お尻の穴なんかで感じたくないのにいい…
どうして…こんな…あ…お汁‥・とまんな‥あっ…もっと‥もっと…ほし‥
あああああああ！お尻パンパン…速くなったぁ♡　ああ‥きもち！きもち…！
奥しゅごい奥しゅごい奥しゅごいっ‥！いぁっ‥・　おちんちん‥いいいい♡
あん♡ふぅん♡くぅん♡　おまんこ‥しゅご‥おまんこ‥きゅんきゅんすりゅ‥♡

あふ‥あふ‥あへぇ‥！ぉっ‥おおおお！あああ！
ぎもぢ‥・ぎもぢ…おふ…ぉっ‥・お♡　んぐっ‥あ‥きちゃう‥また大きいの…
あああ…お尻とおまんこ両方イク…！両方同時にイっちゃう‥・♡
きちゃうっ…きちゃううう‥下品に皆の前で特大イキしちゃううう♡
アイドル失格だよぉ♡　正義のヒロイン失格だよぉ♡　でも我慢できない‥我慢したら
壊れちゃう‥おしりもおまんこも‥もう限界の‥・きちゃうの‥あっあっ
こんなアイドルでごめんなさい…淫乱なアイドルでごめんなさいっ…
お尻もおまんこも敵のおちんちんと触手で感じちゃうダメなアイドルでごめんなさい！
でも精液欲しい…もっと洗脳‥して‥むちゃくちゃにしてほし‥あ…あふ♡ひぁっ…
らめ‥抗えない‥抗えないいい…中に…中に熱いの欲しいのぉおお♡
もう理性なんていらない…全部本能でいいっ…体が欲しがってるから欲しいのっ…
犯して‥犯して♡めちゃくちゃにしてぇ♡きもちくしてぇえ♡おまんこもお尻もイカせて!
あっあっあっあっ
あ‥いぐ‥イグイグイグ！性感帯全部でイク！おしりもおまんこもスライム乳首も
全部まとめてイクぅううううう♡ハルカいっくううううううう♡らして‥らして…
精液らしてっぇえええええ♡あ！ぉ"っ！ふぁっ…
ひぁあああぁぁあああああああああんっ♡　ひっ‥あっ‥あ！おちんちん‥
びくんって‥きたあ！
あ‥あん！あああああああ♡　あつい‥熱い精液‥中に‥ふぁあああああ♡
あっ‥・あっ‥　あっ…　はぁ‥　はぁ‥んく…は‥

ア：はぁあ…思わず見入ってしまっていましたぁ…♡　ハルカさんエッチすぎです♡
最後はおねだりなんてしちゃって…♡　うふふ…♡

ハ：きもち…かった…♡　はぁ…はぁ…♡　貴方も…？
えへへ…嬉しい‥♡　んっ…はあ…沢山…抵抗しちゃって…ごめんね…♡
もう、絶対逆らわないから…♡　だから‥これからも私の事…いっぱい、使って…
気持ちよくなってね…♡　私‥貴方の事、大好きになっちゃった…から♡

エ：これで、確実。洗脳、完了。

ア：よかったです～♡　はぁあ…ギリギリ力ももちましたね。
でもさすがに限界です…そろそろ撤収しましょうか♡

エ：そうした方がいい。

ア：ではハルカさんも一緒にいきましょう。
HERO さんはハルカさんからおちんちんを抜いて、いきますよ。
エル、ハルカさんに羽織るものをあげてください。このままでは外に出れませんから。

エ：わかった。

ハ：んっ…はっ…あっ…抜けちゃうと…なんだか切ないような…んっ…
　　わ…貴方の精液が溢れて…ふふ‥♡ちゅぱ‥れろ♡美味しい…♡
　　これが私の中に入った貴方の精子‥ちゅ‥れろ‥れろ…
　　ね…また…注いでね…私のおまんこに♡　えへへ…♡
エ：立花ハルカ、これを羽織るといい。
ハ：あ…エルさん、ありがとうございます。
　　エルさんもアリアさんも…生意気言ってすみませんでした。
　　これからはお二人の言うこともちゃんと聞きますね。
ア：そうして頂けると助かります～♡
エ：問題ない。じゃあ、出よう。
ハ：あ、はい！
ア：お疲れ様でしたね、HERO さん♡
　　この後…たっぷりご褒美をあげますから、楽しみにしていてくださいね♡

９、アリアとエルからのご褒美～双子の W フェラ～

ア：今日はお疲れ様でした♡　さ、ベッドの上にどうぞ♡
　　って…貴方の部屋ですけど♡ふふ♪
　　でも本当に助かりましたよ～♪貴方のお蔭でハルカさんを堕とすことができました♡
エ：感謝する。君の、おかげ。
ア：ハルカさんは一番の難所でしたからね…これで肩の荷がおりました。
エ：…緊張してる？すごく、固くなってる。
ア：あらあら～？固くなってるって、エルは体のこと言ったんですよー？
　　なのにどうして視線がおちんちんの方にいくんですー？うふふ♡
　　そんなにご褒美が待ち遠しいんですか？ふふ♪
　　エッチですね…♡　でも、貴方のそういうところ…私は好きですよ♡
エ：僕も、好き。
ア：ふふ…♪じゃあ待ちに待った今日のご褒美…何がいいですか？
エ：セックス以外ならなんでも構わない。望みを、言って欲しい。
ア：お口で…ですか？ふふ、構いませんよ♡
　　そういえば、今日お掃除フェラをしてあげた時に…勃起してましたもんね。
　　あの時の気持ちよさが忘れられなかったんですか？くすくす♪
　　…正直な人ですね♡　いいですよ。お口でたっぷり気持ちよくしてあげますね

エ：僕も、頑張る。
ア：じゃあ…ベッドの上でしましょう。寝転がって足を伸ばしてください♪
足は閉じていてくださいね♡　私たちは両側から舐めますから。
エ：舐められるところを見たいなら、枕で少し体を起こすといい。
ア：さて…おちんちんを出しますよ…と♪
わ！すっごいです～♪ぷるんって出てきました～…ふふ♪
もうガチガチじゃないですか…エッチですねぇ♡
エ：すごい…何もしていないのに既に垂直に立っている…。青筋立てて…怒っているみたい。
ア：ホントですね～♪しかもぴくぴくしてます…ふふ‥ツンツンってつっついちゃいます♡
ツンツン、ツンツン♡　あは♡　つっつくと跳ね返ってきます～♡
エ：僕は…匂いを嗅いでみる…。すんすん…すんすん…　すん…
強い、男性の匂いがする。これが、君の匂い…
ア：どれどれ～？さっきは精液まみれでおちんちんの匂いは嗅げてませんでしたからね～
ん～すんすん、すんすん♡　わっ…鼻にツーンとくる匂い…ぶっちゃけ臭いですね♪
エ：姉さん、そんなハッキリ…
ア：だって、臭いんですもん♡　帰ってから一度シャワーはしたんでしょうけど…
でもそれから時間もたってますし…汗やカウパー、それに…おしっこの匂い…♡
とってもくっさいですぅ…♡　でもぉ…ぺろっ…ちゅ‥ちゅぱ…♡
そんなおちんちんを舐めてもらえるって…愛情を感じて嬉しくないですか？ふふ♪
エ：‥姉さん、ずるい。先に舐めた。
ア：ふふ、ごめんなさい♡　じゃあエルもどうぞ♡
エ：んっ‥ちゅる‥ぺろ…♡　ぺろぉ～…んっ…ちゅ…♡
ア：あらあら？ぞくぞくぅってしました？今エッチな声…漏れましたよね？
エ：興奮、してくれてるの？なら、嬉しい。
ア：自分のイチオシアイドルがこうしておちんちんを舐めてくれてるんです…♡
興奮しないわけ、ないですよね…♡ん…れろ…れる‥れる～…れる‥れる♡
エ：沢山感じて…僕達のフェラ。
ア：こーんな贅沢できるの、貴方だけなんですよ♪　ふふふ…たっぷり楽しんで下さい♪
んっ‥ちゅ‥ちゅぱ…れろ‥　くちゅ♡　ちゅ‥れろ‥れろぉ～れろれろ…れろ～
ちゅぷ…ちゅぷ‥れろ‥れろぉ～れろれろ…れろ…　れー　れー　れろぉ～♡
エ：れろ…れろれろ…　ちゅ‥ちゅぱ…れろ‥　ちゅ‥れろ‥れろぉ～れろれろ…れろ～
ちゅぷ…れろ…　れー　れー　れろぉ～♡　ちゅぷ‥れろ‥れろぉ～れろれろ～♪
ア：腰が浮いてますよ？ふふ…そんなに気持ちいいんですか～？
じゃ、こんなのはどうです？おちんちんのさきっぽ…柔らかい亀頭の部分を
吸うように…ちゅ‥ちゅうぅ…ちゅ♡　ちゅぷ‥ちゅるる‥ちゅうう‥くちゅ♡
ちゅっぷちゅっぷちゅっぷ‥れろ‥ちゅぷうう…ちゅ　ちゅ　ちゅ♡　ちゅ～♡

エ：ちゅ‥ちゅうぅ…ちゅ♡　ちゅっぷちゅっぷちゅっぷ‥れろ‥うう‥くちゅ♡
ちゅぷうう…ちゅ　ちゅ　ちゅ♡　ちゅ～♡　ちゅぷ‥ちゅるる‥ちゅ‥ちゅ♡

ア：おちんちんにキスしてるみたいなフェラ…気持ちいいですか～？んちゅ‥ちゅ♡
ふふ、愚問でしたね♡蕩けそうな顔してます‥♡嬉しいですね、そういう顔してくれると。
エ：ちゅ‥ちゅぷ♡　僕達で感じてくれるの…嬉しい。なんだか、ドキドキする。ちゅ…
ア：わかります～♡　私も、すっごくドキドキしてますよ♡　あ、そうです…ねぇエル。
エ：何、姉さん…ちゅ…ちゅ♡
ア：私達もキスしましょう♡　このおちんちんの亀さんを挟んで…
エ：わかった。んっ…こう？じゅる‥じゅるる‥れろ♡
じゅぷぅ…じゅぽぽ…んっ♡　んぶっ…れろぉ‥れ…じゅぷ‥じゅるる‥くちゅ♡
ア：じゅる‥じゅるる‥れろ♡
じゅぷぅ…じゅぽぽ…んっ♡　んぶっ…れろぉ‥れ…じゅぷ‥じゅるる‥くちゅ♡
ほう‥でふ…♡　ふごく…やらしくないでふか…？
じゅぽ…じゅぽ‥はぁはぁ‥れろぉ‥くちゅ‥じゅっぷじゅっぷ♡
エ：んっ…じゅぶ…じゅるる…じゅっぷじゅっぷ…やらひ…ん♡
すごく…やらし…んっ…んぶ…んぶぶ‥じゅぷ♡んっ…はぁ…はぁ‥♡
じゅる‥じゅるる‥れろ♡　じゅぷぅ…じゅぽぽ…んっ♡…れろぉ‥れぇ…
くちゅ…じゅぷ‥じゅるる‥くちゅ♡　れるぅ…じゅぷぷ…じゅぷ♡　ちゅぶぶう♡
じゅっぷじゅっぷ‥　んぶっ…ぷはっ…♡　はぁ‥はぁ‥ん‥
ア：あらあら、これだけでもうイキそうなんれふか…？じゅぷ‥れろぉ…じゅぽん♡
折角ですからもう少しだけ我慢して下さい～♪
ほら、次は根元を二人で咥えて…吸ってあげます♡
エ：この辺り…？たまたまと竿の付け根…
ア：はい…ここを二人で両側から…くわへて…んっ…んぶぶぶぶぶっ♡
エ：んっ…んぶぶぶぶぶ♡
ア：どうです～？気持ちいいでしょう？　ふふふ♡
エ：腰…浮いた。そんなに気持ちよかった？
ア：おちんちんの奥まで響くような刺激がたまらないでしょう？
‥さ、じゃあエル…はむ…　じゅぶぶぶぶぶ♡　ぐぷぷぷぷ…じゅぶぶぶぶぶ♡
エ：うん、姉さん。はむ…じゅぶぶぶぶぶ♡　ぐぷぷぷぷ…じゅぶぶぶぶぶ♡
ア：ほらほら…もっともっとです♡　じゅぼぼぼぼぼ♡　じゅぷ…じゅりゅりゅりゅりゅ♡
んぶっ…んぶぶぶぶ♡　じゅぽぉ…じゅぼぼぼぼ♡　んんっ…ぐぷぷぷぷ♡　じゅぷぅ♡
エ：はむ‥んっ…じゅぼぼぼぼぼ♡　じゅぷ…じゅりゅりゅりゅりゅ♡
んぶっ…んぶぶぶぶ♡　じゅぽぉ…じゅぼぼぼぼ♡　んんっ…ぐぷぷぷぷ♡　じゅぷぅ♡

ア：あらあら、出る、出るぅって…そんな悲痛な声を上げないでください♡
　　そそるじゃないですか～♡
エ：姉さん、楽しんでる…
ア：だって楽しんですもん♡
　　うふふ‥♡じゃあエルはおちんちん、咥えこんで動かしてあげてください♡
エ：わかった。んっ‥ぐっ‥んぶ…♡んっ‥んっ！んぐっ‥じゅっぷじゅっぷ…
　　じゅっぷじゅっぷ‥んぶ‥んっ…　んっ　んっ　んっ　んっ　んっ　んっ♡

ア：私はこのまま根元の刺激を続けます～♡ん～じゅぼぼぼぼ♡　んぶぶぶぶ♡
　　んぶぅ‥じゅぼぼぼぼ♡じゅぶぶぶぶ～…　ぐぷ‥ぐぽ‥じゅぼぼ♡
　　じゅぼぼぼぼ～♡　くぷくぷ…はぁ‥はぁ…じゅぶぶぶ‥じゅぶぶぶぶぶ～♡

エ：んん！おちんちん…じゅっぷじゅっぷ‥じゅっぷ…大きく‥んっ…
ア：じゅぼぼぼぼ…ぷはっ‥はぁ‥はぁ♡　出そうなんですね♡　はぁ…はぁ‥
　　じゅぷぷぷぷ♡　エル、出るときは口を離してくださいね♡
　　二人で彼の白濁を顔にかけてもらいましょう～♡
エ：わかった。んぶ…じゅっぷ‥じゅっぷ…じゅっぷ‥じゅっぷ♡

ア：んっ‥ほら、出してください♡　貴方の白濁を‥んっ…じゅぼぼぼぼ♡
　　いっぱい私達にかけてください♡　推しアイドルに…白く濁った貴方の精液を♡
　　んっ‥出る出る…出ます♡じゅるるるっていって…♡　エル、離してください♡
エ：んっ！ぷはっ‥！
ア：らしてください♡じゅぶうううううううう♡
エ：うわっ…んっ…んんんんん！んく‥　はぁ‥　はぁ‥ぷはっ‥はぁ‥はぁ…
ア：ひぁっ…あっ！んんんんんっ！…んぶ…はっ‥ぷは…は…はぁ‥はぁ‥
エ：すごい…いっぱい‥出た…
ア：ほんと、すっごいです～…♡もう顔も髪も貴方の精液でドロドロです♡
　　いけませんね～♪超人気アイドルの顔や髪にこんな…ふふふ♡
エ：君だけしか、できないこと。
ア：うふふ…喜んでもらえて嬉しいです～♪　また、私達のために働いてくれた時には
　　こうしてご褒美をあげますからね～♡
エ：君のこと、頼りにしてる。これからも、よろしく。
ア：よろしくお願いしますね、ＨＥＲＯさん♪